



埼玉県議会 無所属県民会議 代表

岡しげお

活動レポート NO.46



発行
無所属県民会議白岡支部

事務所
〒349-0217
白岡市小久喜 1203-1
TEL/FAX
0480-93-5671

続く生活への影響

新型コロナウイルス対策

大野知事に酒類販売業者への支援要請

6月定例議会で実現!!



ワクチン接種の体制強化、生活困窮者への支援金などの補正予算も承認されました。詳しくは、埼玉県のホームページをご覧ください。



ワクチン関連情報

登録済接種対象者	接種回数	接種人数	接種率
15,370人	1回目	10,224人	66.5%
	2回目	4,308人	28.0%

接種人数は、令和3年7月8日現在のものです (白岡市ホームページより)

- 埼玉県専門相談窓口接種率
電話番号 0570-033-226
対応時間 24時間体制 (土日・祝日含む)
対応内容 ワクチン接種後の副反応等について、医学的知見が必要となる専門的な相談など
- 厚生労働省新型コロナワクチンコールセンター
電話番号 0120-761-770
対応時間 午前9時～午後9時 (土日・祝日含む)
対応内容 コロナワクチン施策の在り方等に関する問い合わせ

ワクチン有効性比較表

	有効性	接種回数
ファイザー	95%	21日あけて2回
モデルナ	94%	28日あけて2回

有効性については厚生労働省ホームページから

多くの方がワクチン接種をする事で集団免疫が出来て感染を抑えるんだって!



ワクチン接種が済んでもマスクは着用しましょう

危険を承知で毎日頑張っている医療従事者、更には介護・障がい者施設などで働く方々
そして物流、清掃関係者など私たちの生活を支えて下さる全ての方に感謝いたします。



2月定例議会で会派代表質問

- ①令和3年度埼玉県一般会計当初予算案について
- ②新型コロナウイルス感染症について
 - (1) 新型インフルエンザ等対策特別措置法（特措法）と感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律（感染症法）の改正などについて
 - (2) ワクチン接種の副反応や体制整備について
- ③自殺防止対策について
- ④児童虐待防止に向けた取組について
- ⑤生活困窮者への食糧支援について
- ⑥第8期埼玉県高齢者支援計画について
- ⑦県立高校卒業生の就職支援について
- ⑧農業の担い手育成事業について



岡重夫氏
(県民、白岡市など)

【質問】新型コロナウイルスの感染拡大の影響もあり、自殺者が増加している。埼玉県の昨年1年間、自殺者数は1,846人と、前年より70人も多くなっている。県が行っている「ゲートキーパー制度」の在り方を見直し、身近な人の自殺のサインを捉え、その人の話を聴き、必要に応じて専門機関につなぐなどの役割を持った「ゲートキーパー」の活用（会派）なども行っている。現在、ゲートキーパーの研修は市町村に任せられているが、

自殺者減へ取り組みを

しているが、制度改め、県が主体となり、自殺者を減らす取組が必要と考える。
【大野知事】新型コロナウイルスの影響もあり、2020年の県内自殺者数は、最初の緊急事態宣言解除後の6月に増加を始め、10月には前年比38.7%増の1,545人に達した。ゲートキーパー制度の有効性を改めて評価し、実践するとは非常に重要。例えば、行政機関の窓口対応時には、相談者の不測のサインを捉え、一時的に安心して話を聴き、必要に応じて、心理的なサポートを提供するなど、課題の解決に寄る役割が求められる。今後は県が主体となり、ゲートキーパーの重要の周知、さまざまな分野での養成方法や好事例を市町村に紹介するなど、制度を充実させる危険性を共有するため、私自身市町村長と直接協議をすすめていくつもりだ。

令和3年2月27日 埼玉新聞より

令和2年度 政務活動費収支報告書

令和2年度 政務活動費収支報告書

会派名 無所属県民会議・白岡支部
岡 重夫

1, 収入 5,880,000 円
2, 支出 4,469,848 円

単位：円

分類	項目	支出額
調査研究・政策立案活動費	調査研究費	180,724
	グループ活動費	150
広聴・広報活動費	広聴費	4,930
	要望・陳情等活動費	150
	広報費	1,160,880
経常的経費	人件費	1,119,150
	事務所費	759,158
	事務費	523,996
	資料購入・作成費	178,569
	交通費	542,141
合計		4,469,848

3, 残余 1,410,152 円返金済み

詳細は公式ホームページでご確認いただけます

東北自動車道の東側 県道蓮田・白岡・久喜線の歩道整備状況

歩道がなくて危険!!



太陽の里入り口までの歩道が完了したんだね



本年度より、市役所から久喜市方面に向かい、歩道の整備が始まります。まずは用地取得から進めます。



大野知事、藤井市長との連携はとても大切だよ



藤井市長と打合せ



6月議会が終わり会派全員で

岡しげおプロフィール 昭和28年栃木県生まれ

- 大田原高等学校卒業
- 防衛大学校理工学部卒業
美幌駐屯地（北海道）レンジャー部隊教官
防衛大学校訓練指導教官など
- セコム(株)外務省・防衛省・警察庁担当部長
- 白岡町議会議員 2期
- 現在 埼玉県議会議員 4期目
無所属県民会議（会派）代表
- 産業労働企業常任委員



岡しげお公式ホームページで日々の活動を更新!



埼玉県議会 無所属県民会議 代表

岡しげお

活動レポート NO.47



発行
無所属県民会議白岡支部

事務所
〒349-0217
白岡市小久喜 1203-1
TEL/FAX
0480-93-5671

続く生活への影響

新型コロナウイルス対策

大野知事に酒類販売業者への支援要請

6月定例議会で実現!!



ワクチン接種の体制強化、生活困窮者への支援金などの補正予算も承認されました。詳しくは、埼玉県のホームページをご覧ください。



ワクチン関連情報

	進修館	ぐるる宮代	個別接種	合計
対象者	—	—	—	30,688名
ワクチン接種1回目	4,437名	5,200名	96名	9,733名 (31.7%)
2回目	3,413名	3,653名	0名	7,066名 (23.0%)

令和3年7月5日12時更新、12歳以上の接種状況です（宮代町ホームページより）

ワクチン有効性比較表

	有効性	接種回数
ファイザー	95%	21日あけて2回
モデルナ	94%	28日あけて2回

有効性については厚生労働省ホームページから

多くの方がワクチン接種をする事で集団免疫が出来て感染を抑えるんだって!



ワクチン接種が済んでもマスクは着用しましょう

危険を承知で毎日頑張っている医療従事者、更には介護・障がい者施設などで働く方々
そして物流、清掃関係者など私たちの生活を支えて下さる全ての方に感謝いたします。



2月定例議会で会派代表質問

- ①令和3年度埼玉県一般会計当初予算案について
- ②新型コロナウイルス感染症について
 - (1) 新型インフルエンザ等対策特別措置法（特措法）と感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律（感染症法）の改正などについて
 - (2) ワクチン接種の副反応や体制整備について
- ③自殺防止対策について
- ④児童虐待防止に向けた取組について
- ⑤生活困窮者への食糧支援について
- ⑥第8期埼玉県高齢者支援計画について
- ⑦県立高校卒業生の就職支援について
- ⑧農業の担い手育成事業について

岡重実氏 (県民、白岡市など)

【質問】新型コロナウイルスの感染拡大の影響もあり、自殺者が増加している。埼玉県の昨年一年間の自殺者数は1,806人と、前年より78人も多く増えている。県が行っている「ゲートキーパー制度」の任方を原則として、身近な人の自殺の受け皿には、身近な人の自殺の受け皿に受け、その人の苦しみを受け、必要に応じて専門機関につなぐなどの役割を持った「ゲートキーパー」の存在も大切だ。現在、ゲートキーパーの存在は市町村によってまちまちだ。

自殺者減へ取り組みを

しているが、制度を定め、県が主体となり、自殺者を減らす取り組みが必要だ。

【答】新型コロナウイルスの影響もあり、2022年の県内自殺者数は、最初の緊急事態宣言解除後の8月以降増加を始め、10月には前年比約7割増の1,555人に増えた。ゲートキーパー制度の有効性を改めて評価し、県庁をはじめ、市町村に重要事例は、行政機関の窓口対応時には、相談者の不測のサインとなる情報を提供するなど、課題の解決に向けて役割が求められている。今後は県が主体となってゲートキーパーの役割の周知、さまざまな分野での成り立ちや事例を市町村に紹介するなど、制度を充実させる。市町村長に協力を呼びかけたい。

令和3年2月27日 埼玉新聞より

令和2年度 政務活動費収支報告書

令和2年度 政務活動費収支報告書

会派名 無所属県民会議・白岡支部
岡重実

1, 収入 5,880,000 円
2, 支出 4,469,848 円

単位: 円

分類	項目	支出額
調査研究・政策立案活動費	調査研究費	180,724
	グループ活動費	150
広聴・広報活動費	広聴費	4,930
	要望・陳情等活動費	150
経常的経費	広報費	1,160,880
	人件費	1,119,150
	事務所費	759,158
	事務費	523,996
	資料購入・作成費	178,569
	交通費	542,141
合計		4,469,848

3, 残余 1,410,152 円返金済み

詳細は公式ホームページでご確認いただけます

県道さいたま幸手線（御成街道）をより安全に！円滑に！

歩道がなくて危険！！



備前堀川に架かる国納橋

去る6月19日（土）夜、御成街道を全面通行止めにして、歩道橋が設置されました。

これで安全になるね！



今後は東武鉄道の立体交差工事に移行します。まずは、本年度から用地取得が進みます。



新井町長・渋谷副町長と打合せ

大野知事、新井町長との連携はとても大切だね



6月議会が終わり会派全員で

岡しげおプロフィール 昭和28年栃木県生まれ

- 大田原高等学校卒業
- 防衛大学校理工学部卒業
美幌駐屯地（北海道）レンジャー部隊教官
防衛大学校訓練指導教官など
- セコム(株)外務省・防衛省・警察庁担当部長
- 白岡町議会議員2期
- 現在 埼玉県議会議員4期目
無所属県民会議（会派）代表
- 産業労働企業常任委員



岡しげお公式ホームページで日々の活動を更新！

これからも 歩いて 話して ひとつずつ



**埼玉県議会
無所属県民会議 代表**

岡しげお



■令和4年度予算要望書を提出しました

これまで各種団体から予算要望をオンラインで頂き、また地元市町からも直接多くの要望を伺いました。全体で**600項目**（県政全般：365項目、地元要望：235項目）の予算要望を大野知事に手渡しました。

- ① 新型コロナ打撃からの回復
- ② 新しい時代切り開く公教育の推進
- ③ 子供の命を守る施策への重点投資
- ④ 気候危機に打ち勝つ

また、大野知事との意見交換では、第六波に備えた医療体制の整備をお願いしました。



令和3年10月15日 埼玉新聞より



■無所属県民会議主催 勉強会を開催しました

「社会的養護を知り 児童虐待を考える」と題した勉強会を開催しました。

講師は、児童養護施設を巣立った方などの支援を行っている一般社団法人コンパスナビ(さいたま市)の皆さんで、市(町)議会議員(遠くは関西から市議2名)や行政職員、県議の53名が参加しました。



子供の頃に児童虐待を受け18歳まで「児童養護施設」に入所していたブローハン聡さんと、生後4ヶ月から施設で育った山本昌子さんの2人の体験談に加え、埼玉県の取組が紹介されました。

虐待は保護されて終わりではありません。18歳になると頼る人がいない社会へ放り出されます。山本昌子さんは「生きていくことさえ難しい社会で一番辛かったのは孤独だった」と語り、「明日が選択できる社会に」とブローハン聡さんは語りました。心に深い傷を抱えながら生活の支えもない、頼る人もない社会へ巣立つ。この現状を多くの方に知っていただき、彼らの支援につなげていきたいと思ひます。

社会的養護とは

保護者のいない児童や保護者と生活する事が良くない児童を、公的責任で社会的に養育し保護すると共に、養育に大きな困難を抱える家庭への支援を行うこと。
「子どもの最善の利益のために」
「社会全体で子どもを育てること」が基本的理念です。



令和3年10月25日 埼玉新聞より

■1週間に一人の子どもが命を落とす現実

H31.4.1~R2.3.31 命を落とした子どもは57人(最新データ)

■ほとんどの子ども達が虐待を受けた場所に戻される現実(最新データ)

H30年 虐待通報	159,838件	(厚労省ホームページ及び NPO 児童虐待防止全国ネットワーク資料より抜粋)
一時保護	24,864件	
施設入所	4,641人	

令和2年 児童虐待通報件数 205,029件



■新型コロナウイルスワクチン3回目の接種予定

- ・接種開始(予定) 医療従事者：令和3年12月1日～ 住民の方：12月18日～
 - ・接種券発送 令和3年4月18日までに2回目接種した方：11月22日(月)発送予定
4月19日～5月9日に2回目接種した方：12月6日(月)発送予定
 - ・予約方法 前回と同様
 - ・接種場所 ①新しらおか病院(上野田1267-1)
②パーク病院(千駄野1086-1)
- ※接種対象者の増加にあわせ、接種実施医療機関を拡大します。

※11月17日現在の情報です

- 埼玉県専門相談窓口**
- 電話番号 0570-033-226
 - 対応時間 24時間体制(土日・祝日含む)
 - 対応内容 ワクチン接種後の副反応等について医学的知見が必要となる専門的な相談等



■白岡中央総合病院移転について

白岡中央総合病院の移転に関する打ち合わせを行いました。
 築43年経過した現在の病院が白岡市内に移転する大事業で、病院が主体ですが白岡市と埼玉県との連携が必要です。そして、令和7年度竣工に向けて事業を予定通り進めるためには、市や県の様々な許可をスムーズに認可してもらうことも必要です。橋本病院長と藤井白岡市長、私（県議）と事務方との意見交換を行い、情報の共有と病院側からの要望などを伺いました。一時期、市外に移転してしまう恐れがありましたが、藤井市長のリーダーシップと行動力により市内移転にこぎつけました。やはり、大きな事業を行う際は事務方が一生懸命努力する事に加え、トップの強い決断力とリーダーシップが必要です。この移転は、白岡市だけでなくこの地域全体の医療体制を整備する上で大切な事業です。私も、今後ともスムーズに進められるように、県との橋渡し役として全力で取り組んでいきます。



橋本病院長と打ち合わせ

県と市の連携がスムーズに

■隼人堀川に住民待望のベンチ設置



菁莪小学校南側の調整池の造成工事と隼人堀川の改修工事は、県の大事業です。今回地元の皆様から遊歩道にベンチを設置して欲しい旨の要望があり、地元行政区長のご協力も頂き、白岡市道路課職員のアイディアによる手作りベンチが県の敷地内に設置されました。県と市が連携して、住民の声を確実に形にしています。



■市内郵便局で「フードポスト」がスタート みんなの『想い』で子ども達を『笑顔に』



白岡郵便局秋間局長と地域の課題を定期的に話し合っています

令和3年11月17日から白岡市内5つの郵便局で「フードポスト」が始まりました。これは、生活にお困りの子育て中の家庭に、子どもの成長に必要な食品と笑顔をお届けする取組です。ご寄付頂ける食品がございましたら、ぜひ最寄りの郵便局までお願いいたします。なお、集まった食品は「しらおか子育て応援ラボ」が、必要なご家庭に配布いたします



しらおか子育て応援ラボは、2020年に発足した白岡市民有志による団体です。これまで、偶数月にフードドライブ（食品の収集）とフードパントリー（配布）を行っており、白岡市の子ども達のために精力的に活動している団体です。

岡しげおプロフィール 昭和28年栃木県生まれ

- 奨学金を貰いながら自転車で片道1時間の大田原高校に通う
- 防衛大学校卒業後、陸上自衛隊レンジャー部隊教官や防衛大学校教官、富士学校戦術教官など
- 妻の両親の看病のため自衛隊を退職
 両親を引き取りセコム(株)に勤務、外務省・警察庁担当部長
- 白岡町議会議員2期、現在埼玉県議会議員4期目
- 寝たきりの義母(96歳)を妻と介護中
- 趣味は、愛犬とのウォーキングです

岡しげお公式ホームページ
 ブログを毎日更新!!



発行 無所属県民会議白岡支部

〒349-0217 白岡市小久喜 1203-1
 TEL/FAX 0480-93-5671

これからも 歩いて 話して ひとつずつ



埼玉県議会
無所属県民会議 代表

岡しげお



■令和4年度予算要望書を提出しました

これまで各種団体から予算要望をオンラインで頂き、また地元市町からも直接多くの要望を伺いました。全体で**600項目**(県政全般:365項目、地元要望:235項目)の予算要望を大野知事に手渡しました。

- ① 新型コロナ打撃からの回復
- ② 新しい時代切り開く公教育の推進
- ③ 子供の命を守る施策への重点投資
- ④ 気候危機に打ち勝つ

また、大野知事との意見交換では、第六波に備えた医療体制の整備をお願いしました。



令和3年10月15日 埼玉新聞より



■無所属県民会議主催 勉強会を開催しました

「社会的養護を知り 児童虐待を考える」と題した勉強会を開催しました。

講師は、児童養護施設を巣立った方などの支援を行っている一般社団法人コンパスナビ(さいたま市)の皆さんで、市(町)議会議員(遠くは関西から市議2名)や行政職員、県議の53名が参加しました。

子供の頃に児童虐待を受け18歳まで「児童養護施設」に入所していたブローハン聡さんと、生後4ヶ月から施設で育った山本昌子さんの2人の体験談に加え、埼玉県の取組が紹介されました。

虐待は保護されて終わりではありません。18歳になると頼る人がいない社会へ放り出されます。山本昌子さんは「生きていくことさえ難しい社会で一番辛かったのは孤独だった」と語り、「明日が選択できる社会に」とブローハン聡さんは語りました。

心に深い傷を抱えながら生活の支えもない、頼る人もない社会へ巣立つ。この現状を多くの方に知っていただき、彼らの支援につなげていきたいと思ひます。



社会的養護とは

保護者のいない児童や保護者と生活する事が良くない児童を、公的責任で社会的に養育し保護すると共に、養育に大きな困難を抱える家庭への支援を行うこと。

「子どもの最善の利益のために」
「社会全体で子どもを育てること」が基本的理念です。

■1週間に一人の子どもが命を落とす現実

H31.4.1~R2.3.31 命を落とした子どもは57人(最新データ)

■ほとんどの子ども達が虐待を受けた場所に戻される現実(最新データ)

H30年 虐待通報 159,838件

一時保護 24,864件

施設入所 4,641人

(厚労省ホームページ及びNPO 児童虐待防止全国ネットワーク資料より抜粋)

令和2年 児童虐待通報件数 205,029件



子ども虐待防止オレンジリボン運動



令和3年10月25日 埼玉新聞より

■新型コロナウイルスワクチン3回目の接種予定

※11月17日現在の情報です

- ・接種開始(予定)
- ・対象者
- ・接種場所

令和4年1月以降の接種開始を予定
2回目接種後8か月経過した方
進修館・大ホール

埼玉県専門相談窓口

●電話番号
0570-033-226

●対応時間
24時間体制(土日・祝日含む)

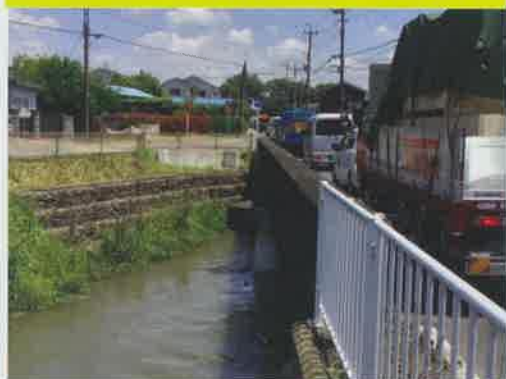
●対応内容
ワクチン接種後の副反応等について、医学的知見が必要となる専門的な相談等





■国納橋に人道橋が整備されました

非常に危険な状況でした



これで安心して歩くことができます



白岡市から宮代町・幸手市に通じる県道「さいたま幸手線（御成街道）」は、大型トラックが多く通る重要な幹線道路です。ところが宮代町の備前掘川に架かる国納橋には、これまで歩道がなく、自転車や歩行者にとって大変危険な橋でした。地域の皆さんから人道橋設置の要望を多くいただいており、県に働きかけてきたところ、この度地権者や周辺の方々のご協力があり、人道橋設置が実現しました（写真）。今後は、切れている歩道の整備を行い、今年度中には完成予定です。
※この橋は、夜間に御成街道を通行止めにして設置工事を行いました。県が管理するのは県道だけでなく、一級河川もありますので、これから順次県の予算で整備していきます。

■東武伊勢崎線の立体交差事業



和戸交差点の拡張工事は周辺の皆様のご協力により完成しました。今後は東武伊勢崎線（東武スカイツリーライン）の立体交差工事のための設計・用地買収に移行していきます。この大事業は周辺地域の皆さんの協力が不可欠です。県と町が連携しながら事業が進められるように、地元の県議会議員として宮代町議会議員や住民の皆さんと力を合せ、引き続き全力で取り組みます。

この事業が完成すると御成街道の渋滞は大幅に解消されます。



■和戸交差点右折信号



和戸交差点は、県道（春日部・久喜線）と県道（さいたま幸手線）の交差する交通の要所で、朝夕は激しい混雑状況が続いています。交差点の拡張工事の完了と同時に、右折信号を設置して欲しいという要望が町から県・県警に出されています。現状では、県道さいたま幸手線の右折帯が仮設の為、信号の設置が出来ません。正規の右折帯が出来るよう県が用地買収などを始めました。より安全に走行するためには、右折信号機の設置は重要です。今後とも粘り強く要望して行きます。



新井町長との打ち合わせも頻繁に

岡しげおプロフィール 昭和28年栃木県生まれ

- 奨学金を貰いながら自転車で片道1時間の太田原高校に通う
- 防衛大学校卒業後、陸上自衛隊レンジャー部隊教官や防衛大学校教官、富士学校戦術教官など
- 妻の両親の看病のため自衛隊を退職
両親を引き取りセコム(株)に勤務、外務省・警察庁担当部長
- 白岡町議会議員2期、現在埼玉県議会議員4期目
- 寝たきりの義母(96歳)を妻と介護中
- 趣味は、愛犬とのウォーキングです

これから
歩いて話して
ひとつずつ

岡しげお

発行 無所属県民会議白岡支部

岡しげお公式ホームページ
ブログを毎日更新!!



〒349-0217 白岡市小久喜 1203-1
TEL/FAX 0480-93-5671

ハッピーリリー 岡村通信



埼玉県マスコット 川口市のマスコット
「コバトン」 「きゅぼらん」

発行責任者
無所属県民会議川口支部岡村ゆり子
〒332-0031
埼玉県川口市青木2-9-26アオキビル2F
TEL048-229-0530



～川口市の花は鉄砲ユリです。
皆様と「住んでよかった。これからも住み続けたい」と
思える幸せなまちをつくりたいと思います～

令和3年度当初予算案のポイント

新型コロナウイルス感染症による危機を乗り越え、人口減少社会においても本県が持続可能な発展・成長を続けるためには、感染症対策など喫緊の課題に的確に対応していく必要があります。また、デジタル化への対応や、激甚化・頻発化する自然災害への備えを進めるとともに、子供からシニアまで生涯を通じていきいきと活躍できる社会をつくります。令和3年度当初予算は、これまで経験したことのない困難な状況を乗り越え、明るい未来を切り開いていくべく、「安心・安全の強化」、「DXの推進と県経済の回復・成長」、「持続可能で豊かな未来への投資」を最優先に取り組みます。

予算規模

◆ 一般会計

2兆1,198億4,300万円 (前年度比8.1%増)
(2年度 1兆9,603億1,500万円)

◆ 全会計合計 (一般会計・特別会計・企業会計)

3兆5,026億9,833万9千円 (前年度比1.5%増)
(2年度 3兆4,508億5,773万9千円)

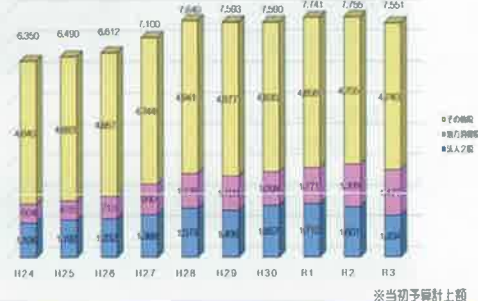
参考 一般会計予算規模の推移 (当初対比) (単位: 億円、%)

年 度	26	27	28	29	30	元	2	3
予 算 額	17,299	18,290	18,805	18,644	18,658	18,885	19,603	21,198
伸 び 率	3.2	5.7	2.8	▲0.9	0.1	1.2	3.8	8.1

県税収入 7,551億円 (▲204億円、▲2.6%)

単位: 億円

- 新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、法人2税をはじめ多くの税目で減収となることから、204億円の減額となる7,551億円を計上



公共事業費 982億円 (▲34億円、▲3.4%)

(13か月予算 1,396億円 (+228億円、+19.5%) 単位: 億円)

- 令和2年度2月補正予算(国経済対策)と合わせた13か月予算で「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」など防災・減災対策を強力に推進



県債残高 3兆9,363億円 (711億円、1.8%の増)

単位: 億円

- 将来世代に過大な負担を残さないよう、真に必要な事業に重点化した上で活用
- 臨時財政対策債・減収補償債を除く県債残高は、1兆8,660億円で19年連続の減少



埼玉県議会2月・3月定例会は2月19日(金)に開会し、3月26日(金)閉会となっています。当初予算を審議する重要な議会となっています。コロナ対策に直結する委員会なので、しっかり行ってまいります。

新型コロナワクチン接種体制構築に向けた埼玉県の取組について

1 国・県・市町村の主な役割

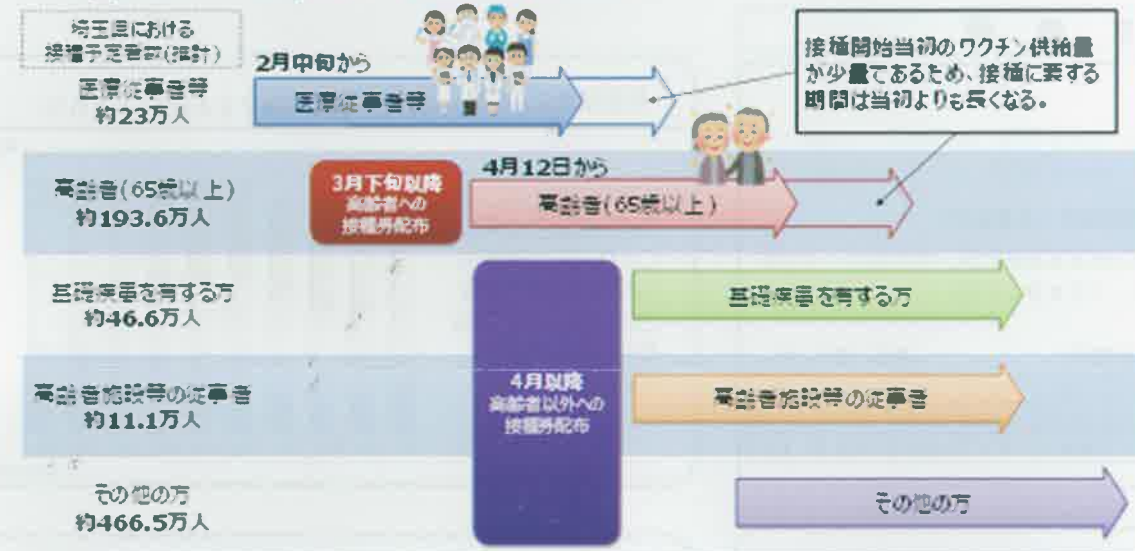
国	<ul style="list-style-type: none"> ワクチンの確保 接種順位の決定
広域的調整 県	<ul style="list-style-type: none"> 医学的な知見を要する専門相談窓口の設置 医療従事者等への接種体制の調整 市町村事務に係る調整
実施主体 市町村	<ul style="list-style-type: none"> 医療機関と委託契約を締結 集団接種を行う場合の会場の確保 接種に必要な接種券の印刷

2 ワクチンの種類

ファイザー社 <ul style="list-style-type: none"> 超低温冷凍庫(-75℃)による保管 配送量975回分、小分けの場合、厳格な管理が必要 ⇒ 大量に接種できる、病院を中心に実施 	全国の確保量 1.2億回分 (全体の約4割)	R2.12.18申請 ↓ R3.2.14承認	医療従事者、 高齢者等への 優先接種は ファイザー社の ワクチンで実施
アストラゼネカ社 <ul style="list-style-type: none"> 冷蔵庫(2~8℃)による保管 配送量20回分～、小分け可 ⇒ 地域の診療所での実施を想定 	全国の確保量 1.2億回分 (全体の約4割)	R3.2.5申請	
武田/モデルナ社 <ul style="list-style-type: none"> 低温冷凍庫(-20℃)による保管 配送量100回分～ 針を刺す前の状態で30日間保存可能 ⇒ 地域の診療所での実施を想定 	全国の確保量 5,000万回分 (全体の約2割)	国内未申請	

3 接種スケジュール

- 国がワクチンを準備し、接種の順番を決定



「埼玉県 新型コロナウイルスワクチン接種の専門相談窓口(コールセンター)」

新型コロナウイルスワクチン接種後の副反応等について、医学的知見が必要になる専門的な相談等に関する問い合わせ

専門的な知識を有する看護師や医師などが24時間体制で相談に応じます。

電話番号: 0570-033-226(ナビダイヤル)

受付時間: 24時間対応(土日、祝日を含む)

「川口市新型コロナウイルスワクチン接種コールセンター」

電話: 050-3160-9567

受付時間: 24時間自動応答サービス

オペレーター対応時間: 9時00分～18時00分(日曜日、祝日を除く)

ハッピーリリー 岡村通信

Vol.37
2021.5



埼玉県マスコット
「コバトン」



川口市のマスコット
「きゅぼらん」

発行責任者
無所属県民会議川口支部岡村ゆり子
〒332-0031
埼玉県川口市青木2-9-26アオキビル2F
TEL048-229-0530



～川口市の花は鉄砲ユリです。

皆様と「住んでよかった。これからも住み続けたい」と
思える幸せなまちをつくりたいと思います～

令和3年度2月定例会

埼玉県議会令和3年度2月定例会は、2月19日(金曜日)から3月26日(金曜日)までの36日間にわたって開かれましたので、ご報告いたします。

開会日 2月19日

知事提出議案について、知事から提出説明が行われました。

代表質問 2月26日・3月1日 一般質問 3月2日～3月4日

13名の議員が登壇し、県政に関わる質疑を行いました。

常任委員会 3月8日 福祉保健医療常任委員会

特別委員会 3月10日 人材育成・文化・スポーツ振特別委員会

予算特別委員会 3月11～17日・19日・23日・25日

所属会派から5名が委員となり審議しました。急遽新型コロナウイルス感染症対策に要する第一次補正予算も組まれました。

委員長報告 3月25日

各委員会・各特別委員会の委員長より、委員会審査についての報告を受けました。

閉会日 3月26日

討論・採決が行われ、すべて原案可決となりました。



令和3年度川口市に関連する予算・事業

- ・**県営住宅整備の推進 川口飯塚団地計画策定**
昨年9月1日に大野知事に対し、「川口市内における県営住宅の整備に関する要望書」を市長、川口市選出7名の県議会議員で提出しておりました。今年度当初予算に老朽化した県営住宅の建替えによる計画的な整備として計画策定を行うこととなりました。
- ・**橋梁の計画的な耐震補強 練馬川口線川口陸橋**
大規模地震の発生に備え、耐震補強を行います。
- ・**交番、駐在所建設費 武南警察署鳩ヶ谷南交番**
地域住民の安全と平穏を確保するため、地域に密着した警察活動の拠点となる駐在所を計画的に整備し治安体制の強化を図ります。今年度当初予算では改築に向けた設計を行います。
- ・**ホームドア設置促進 埼玉高速鉄道**
ホームドアの整備費用の一部を負担する市町村に対して補助します。埼玉高速鉄道(東川口駅・戸塚安行駅・新井宿駅・鳩ヶ谷駅・南鳩ヶ谷駅・川口元郷駅)
- ・**県営屋内50メートル水泳場整備事業整備候補地選定・基本計画策定 神根運動場**
整備地選定委員会において、屋内50メートル水泳場は川口市、スポーツ科学拠点施設は上尾市が最適地であるとし、分離設置が望ましいとの結論が出ました。その提言を受け、今年度中に最終決定と整備の基本計画策定を行います。

令和3年4月臨時会補正予算

4月19日(月)に埼玉県議会臨時会が開会されました。まん延防止等重点措置の適用を国へ要請しており、決定されたことから飲食店等の事業者に対する感染防止対策協力金の支給に要する経費など、当面緊急に対応すべき事業について補正予算を編成しました。

1 補正予算の規模
一般会計 **385億5340万9千円**
(補正後累計) **2兆1779億1862万9千円)**

2 内容

- ・ 営業時間短縮要請の機関延長等に伴う「埼玉県感染防止対策協力金」の支給 **366億2908万9千円**
- ・ 営業時間短縮要請に係る働きかけ活動等の推進 **1億 908万円**
- ・ アクリル板の設置等感染防止対策を実施する県内飲食店等に対する支援 **2億5500万円**
- ・ 高齢者・障害者入所施設の職員に対するPCR検査の追加実施 **15億6024万円**

新型コロナウイルスワクチン分配状況

1 医療従事者等の優先接種分について

医療従事者等の接種に用いるワクチンについては、3月から段階的に分配されており、5月10日の週までに全国の医療従事者等の全員分が確保される見通しが示されました。

2 65歳以上の高齢者の優先接種分について

・65歳以上の高齢者の接種に用いるワクチンは、4月から段階的に分配され、川口市には4月12日の週に1箱×2回接種分(975人)が配送されました。川口市では施設内クラスターが多数発生していることから、高齢者施設入所者を中心に接種していきます。

・4月26日の週→県内全ての市町村に0.5箱×2回接種分(485人)配送されました。

5月3日の週→各市町村より希望のあった数に対し約6割確保・分配

☆5月10日17日の週→全国で16,000箱確保予定

☆5月24日31日の週→全国で16,000箱以上確保予定

☆については、国が確保した数を都道府県に分配し、市町村からの希望数を受け分配数が決まります。

・接種方法は、川口市から接種券(クーポン券)がご自宅に送られてきますので、そちらをご覧ください**必ず事前予約**を行ってください。**接種費用はかかりません。**

また川口市では、かかりつけ医の診療所などの「個別接種」と市が設ける会場での「集団接種」を併用します。

個別接種⇒市内の病院、診療所等約140ヶ所

集団接種⇒地域保健センター、生涯学習プラザ、鳩ヶ谷庁舎(土日のみ実施)、スポーツセンター等6会場(月替わりで3会場を開場)

令和3年度の所属委員会についてご報告いたします。

- ・文教常任委員会
 - ・少子・高齢者福祉社会対策特別委員会
 - ・新型コロナウイルス感染症対策特別委員会
- 所属会派「無所属県民会議」の一員として、議会改革にも積極的に取り組んでまいります。

新型コロナウイルス感染症の状況にもよりますが、埼玉県議会6月定例会において、一般質問を予定しております。

6月18日 13時～ 県議会議事堂

県議会ホームページでもご覧いただけますのでよろしくお願いいたします。



ハッピーリリー 岡村通信



発行責任者
無所属県民会議員川口支部岡村ゆり子
〒332-0031
埼玉県川口市青木2-9-26アオキビル2F
TEL048-229-0530



Vol. 38 2021. 7

川口市の花は鉄砲ユリです
皆様と「住んでよかった。これからも住み続けたい」と
思える幸せなまちをつくりたいとおもいます。

いつもありがとうございます。埼玉県議会6月定例会で一般質問を行いました。まん延防止等重点措置期間で、議場の人数制限もあったことから、傍聴もご遠慮いただきました。前向きな答弁を得られたものもあります。一般質問特大号としてご報告いたします。

《質問項目》

1 一時保護所の在り方について

- (1) 入所期間を短縮させるための取組について
- (2) 子どもの権利擁護を

2 離婚前後の支援と養育費確保について

- (1) 離婚前の相談体制の強化について
- (2) 公正証書作成の支援を
- (3) 養育費の継続的な確保策の導入を

3 不妊症に関する性教育を更に行うべき

4 多様性を認め合える学校教育に更に力を入れるべき

5 ターゲット・バードゴルフの普及と推進について

- (1) 団体への支援について
- (2) ターゲット・バードゴルフの周知を

6 様々な理由でマスクができない方がいることへの理解について

- (1) マスクができない方がいるということの周知を
- (2) マスクができないことを他人に理解してもらうための取組を

7 公衆浴場法施行条例の男女の混浴年齢を引き下げるべき

8 屋内50メートル水泳場整備に向けて

- (1) 今後の計画予定について
- (2) 地元市との協議と緊密な連携を
- (3) 分離設置となることでのメリットについて



1 一時保護所の在り方について

(1) 入所期間を短縮させるための取組について

岡村質問：一時保護所の在り方の入所期間は原則として2ヵ月以内とされている。厚生労働省の資料によると、入所期間の全国平均日数は31日ですが、本県40.3日と平均を超えている現状である。本県の現状をどのように捉え今後どのように改善していくべきか。

知事答弁：個々の児童の状況に対応するため、職員に対して一時保護に関する専門研修を実施し、児童が適切な期間で退所できるように努めている。児童虐待対応の中心となる児童福祉司を令和2年度は52名、令和3年度は43名それぞれ増員した。引き続き児童福祉司について新たな配置基準が適用される来年度に向け増員を図り適切かつ迅速な対応に努める体制を構築する。

(2) 子どもの権利擁護を

岡村質問：保護されている状態なので一定の管理や制限はやむを得ないと思うが、子どもの権利が最大限擁護されるルールづくり、環境づくりを求めるがいかがか。

福祉部長答弁：私物利用のルールについては、入所時に児童に丁寧に説明をし、理解を得るようにしている。また、各一時保護所に「意見箱」を設け、生活や困りごとなど自由に意見をいうことができるようにしている。引き続き、児童の声に耳を傾け安心できる環境を整えていく。

2 離婚前後の支援と養育費確保について

平成28年度全国ひとり親世帯等調査結果によると、離婚の際に養育費の取り決めをしていると回答したのが42.9%、母子世帯において離婚した父親から現在も養育費を受け取っているとの回答は23.4%にとどまっており、離婚後別居している親から養育費の支払いを十分に受けていないことがひとり親世帯の貧困の要因の一つであると言われている。

(1) 離婚前の相談体制の強化について

岡村質問：法律相談だけでなく、子どもの福祉をしっかりと踏まえた相談事業を実施していただきたいがいかがか。

福祉部長答弁：子どもの福祉へ配慮していくという職員の意識共有と対応能力の向上を図っていく。また、養育費など法律面からの対応が必要な方には、無料法律相談をご案内し、当事者間の問題に加え、面会交流の場の設定や頻度など子どもにも配慮した助言が行えるよう努めていく。

岡村再質問：SNSの活用など多様性を持つことが相談体制の強化に繋がると考えるがいかがか。

福祉部長再答弁：多様性ということは考えている。アクセスしやすくなるよう能動的に取組んでいく。

(2) 公正証書作成の支援を

岡村質問：県として公正証書作成を支援していくべきと考えるがいかがか。

福祉部長答弁：市町村職員への研修を充実させるとともに、今後は住民向けの啓発セミナーなど市町村が行う取組を支援していく。更に、国庫補助事業の活用などにより、市町村において公正証書作成支援の取組が進むよう、県として積極的に働きかけていく。

岡村再質問：財政的な支援はできないか。

福祉部長再答弁：国の補助事業の活用を市町村に周知し、作成支援が進んでいくよう県としても全力で取組んでいく。

(3) 養育費の継続的な確保策の導入を

岡村質問：養育費の滞納があった場合、保証会社がひとり親家庭に立替払いをした上で、未納分を回収する制度となっている民間保証会社を活用し、市町村と連携し養育費確保策を進めていただけないか。

福祉部長答弁：民間保証会社の活用は、ひとり親家庭にとっては養育費が保証される上、離婚した相手と連絡を取る必要もなくなり、精神的な負担も軽減されるという利点がある。今後、その内容を広く県内に周知するとともに、市町村担当向けの勉強会を実施するなど養育費確保支援の促進を図っていく。



3 不妊症に関する性教育を更に行うべき

岡村質問：不妊は加齢だけでなく男女とも様々な原因があることから、正しい知識を早い段階から知っておく必要があると考える。不妊について積極的に学校教育で取り入れるべきと考えるがいかがか。

教育長答弁：保健体育教諭や養護教諭等を対象とした研修会において内容の更なる充実を図るなど、不妊に関する教育にしっかりと取り組んでいく。

4 多様性を認め合える学校教育に更に力を入れるべき

岡村質問：性的マイノリティに関しては学習指導要領に位置づけがないので、どの授業で行うのか含め、十分な授業時間をとることが難しい現状がある。当事者である児童生徒やその保護者の支援に加え、性の多様性の尊重に関する教職員や他の児童生徒の理解を深め、誰もが安心して学校生活を送ることができる環境づくりに力を入れるべきと考えるがいかがか。

教育長答弁：今年度LGBTQの当事者や学識経験者を交えた会議を設置し、ひとりひとりに寄り添った相談や学校全体での組織的な支援の在り方などを検討することにより、学校における支援体制の充実に結び付けていく。

5 ターゲット・バードゴルフの普及と推進について

ターゲット・バードゴルフは、1985年に発表された埼玉県川口市発祥のスポーツで、昨今の健康ブームにおいては、特に高齢者スポーツとして全国的に親しまれている。

(1) 団体への支援について

岡村質問：活発に活動している愛好家団体が多くいるため、その団体単位で補助を出すことや県ターゲット・バードゴルフ協会の構成団体となれるよう事務的な支援など考えていただけないか。

県民生活部長答弁：県全体への普及・振興という観点から、愛好家団体など個別の団体に対し補助金を出すなどのことはしていない。県ターゲット・バードゴルフや支部協会に加盟を希望する際は、手続きや団体運営の相談、協会の橋渡しなどの支援を行っていく。

(2) ターゲット・バードゴルフの周知を

岡村質問：高齢者が参加しやすいイベント・事業等の好事例集にターゲット・バードゴルフを入れていただきたいがいかがか。

県民生活部長答弁：ターゲット・バードゴルフはこれまで掲載してこなかった。今後は、好事例を取材し、その都度ホームページに掲載するなど、高齢者が参加しやすく生きがいや健康増進に繋がるスポーツ・レクリエーションとして活動を広めていく。

6 様々な理由でマスクができない方がいるということへの理解について

(1) マスクができない方々がいることへの周知を

岡村質問：様々な障がい等でマスクをつけることができない方がいる。今後もマスクをつけての生活が続くと思われるため、マスクができない方がいるということを知っていただきたいがいかがか。

福祉部長答弁：県の広報誌「彩の国だより」や県ホームページ、SNS、テレビ、ラジオ、スマホアプリなどあらゆる媒体を活用して積極的に周知を図り、思いやりのある行動を促していく。

(2) マスクができないことを他人に理解してもらうための取組を

岡村質問：缶バッジやカードの作成など、マスクができないことを他人に理解してもらうための取組を県として実施できないか。

福祉部長答弁：新たなグッズを作成することは県民に広く周知されるまで時間がかかるため作成は考えていない。全国的に認知されているヘルプマークの活用が有効であると考えためより活用、周知していく。

岡村再質問：ヘルプマークの活用、周知は配布窓口となっている市町村との連携が必要となるがいかがか。

福祉部長再答弁：市町村との連携は非常に重要であると考える。関係会議等で連携を図りながら行っていく。

7月18日(日)18時30分~テレ玉で「こんにちは県議会です」が放送されます。会派を代表し、6月定例会を振り返ってコメントしていますのでご覧いただくと嬉しいです。

7 公衆浴場法施行条例の男女の混浴年齢を引き下げるべき

岡村質問：本県では、公衆浴場法施行条例で10歳以上の男女を混浴させないこととなっている。厚生労働省は昨年12月に公衆浴場における衛生管理要領の混浴制限年齢をおおむね7歳以上に引き下げた。この要領改正を受け、本県の条例を改正すべきと考えるがいかがか。

保健医療部長答弁：本県においても混浴制限年齢に関する条例の見直しを行っていく。

8 屋内50メートル水泳場整備に向けて

埼玉県屋内50メートル水泳場及びスポーツ科学拠点施設整備地選定委員会において、屋内50メートル水泳場は川口市、スポーツ科学拠点施設は上尾市と分離設置の結論が出た。

(1) 今後の計画予定について

岡村質問：屋内50メートル水泳場及びスポーツ科学拠点施設整備事業費として15,183,000円が計上されているが、今年度はどこまで計画が進むのか。

県民生活部長答弁：今年度は、幅広い事業者の意見を聴取するサウンディング調査を行い、地元市とも調整を図り、施設の規模、配置計画、事業手法なども盛り込んだ基本計画案の策定を行っていく。

(2) 地元市との協議と緊密な連携を

岡村質問：川口市と協議と連携をとりながら計画を策定していくことが周辺住民の理解を得るためにも重要であると考えられるがいかがか。

県民生活部長答弁：様々な課題やご意見、ご要望は理解をしている。基本計画の策定にあたっては、周辺施設との効果的な連携や配置場所の課題について、地元住民の方にもご理解いただけるよう、川口市との綿密に連携を図り協議を進めていく。

(3) 分離設置となることでのメリットについて

岡村質問：両施設が分離設置となることにより見えてきたものやプラスになるものもあると思うがいかがか。

県民生活部長答弁：県全体を幅広くとらえる視点から、それぞれの地元市の提案を活用し、施設の特徴を最大限生かすことができる。また両施設がデジタル技術を活用し連携することは、今後県内スポーツ施設などの連携のモデルとなると考えている。

特別委員会報告

今年度より新型コロナウイルス感染症対策特別委員会の委員になりました。

6月29日(火)に委員会が開催され、以下4点質疑しました。

- ・ コロナ対策オンラインチームeMATの活用状況と今後について
- ・ 高齢者ワクチン接種の完了状況と集団接種会場の役割について
- ・ 今後のワクチン確保の見通しと現場が混乱しないようなワクチン配分を
- ・ 東京2020オリンピック・パラリンピックの学校連携チケットの扱いと市町村教育委員会への指導について

引き続き皆様の安心に繋がるよう取組んでまいります。

埼玉県議会議員 岡村ゆり子 プロフィール

- ・ 昭和56年4月、川口市東内野に生まれる。
- ・ 川口市立差間小学校・北中学校、私立恵泉女学園高等学校、フェリス女学院大学 文学部卒業
- ・ 明治大学専門職大学院ガバナンス研究科 修了。
- ・ 父・幸四郎の事務所を手伝いながら、テレビ局に勤務。(2014年7月に退社)
- ・ 2015年5月～2019年3月 川口市議会議員
- ・ 2019年4月～ 埼玉県議会議員
- ・ 所属委員会 文教委員会 少子・高齢者福祉社会対策特別委員会
- ・ 趣味 スポーツ観戦(Jリーグ開幕以来、浦和レッズ一筋です。)、筋トレ、フラワーアレンジメント
- ・ 好きな食べ物 チョコミント味のもの
- ・ 好きな言葉 志あるところに道は開ける
- ・ Facebookをやっています「岡村ゆり子」で検索してください。





ハッピーリリー 岡村通信



Yuriko Okamura



埼玉県マスコット
「コバトン」



川口市のマスコット
「きゅほらん」

発行責任者
無所属県民会議員川口支部岡村ゆり子
〒332-0031
埼玉県川口市青木2-9-26アオキビル2F
TEL048-229-0530

Vol. 39 2021. 7

川口市の花は鉄砲ユリです
皆様と「住んでよかった。これからも住み続けたい」と
思える幸せなまちをつくりたいとおもいます。

令和3年6月定例会一般質問

6月18日(金)登壇し、一問一答形式で一般質問を行いました。一部抜粋となりますがご報告いたします。

《質問項目》

1 一時保護所の在り方について

- (1) 入所期間を短縮させるための取組について
- (2) 子どもの権利擁護を

2 離婚前後の支援と養育費確保について

- (1) 離婚前の相談体制の強化について
- (2) 公正証書作成の支援を
- (3) 養育費の継続的な確保策の導入を

3 不妊症に関する性教育を更に行うべき

4 多様性を認め合える学校教育に更に力を入れるべき

5 ターゲット・バードゴルフの普及と推進について

- (1) 団体への支援について
- (2) ターゲット・バードゴルフの周知を

6 様々な理由でマスクができない方がいることへの理解について

- (1) マスクができない方がいるということの周知を
- (2) マスクができないことを他人に理解してもらうための取組を

7 公衆浴場法施行条例の男女の混浴年齢を引き下げるべき

8 屋内50メートル水泳場整備に向けて

- (1) 今後の計画予定について
- (2) 地元市との協議と緊密な連携を
- (3) 分離設置となることでのメリットについて



1 一時保護所の在り方について

(1) 入所期間を短縮させるための取組について

岡村質問：一時保護所の在り方の入所期間は原則として2ヵ月以内とされている。厚生労働省の資料によると、入所期間の全国平均日数は31日ですが、本県40.3日と平均を超えている現状である。本県の現状をどのように捉え今後どのように改善していくべきか。

知事答弁：個々の児童の状況に対応するため、職員に対して一時保護に関する専門研修を実施し、児童が適切な期間で退所できるように努めている。児童虐待対応の中心となる児童福祉司を令和2年度は52名、令和3年度は43名それぞれ増員した。引き続き児童福祉司について新たな配置基準が適用される来年度に向け増員を図り適切かつ迅速な対応に努める体制を構築する。

2 離婚前後の支援と養育費確保について

平成28年度全国ひとり親世帯等調査結果によると、離婚の際に養育費の取り決めをしていると回答したのが42.9%、母子世帯において離婚した父親から現在も養育費を受け取っているとの回答は23.4%にとどまっており、離婚後別居している親から養育費の支払いを十分に受けていないことがひとり親世帯の貧困の要因の一つであると言われている。

(2) 公正証書作成の支援を

岡村質問：県として公正証書作成を支援していくべきと考えるがいかがか。

福祉部長答弁：市町村職員への研修を充実させるとともに、今後は住民向けの啓発セミナーなど市町村が行う取組を支援していく。更に、国庫補助事業の活用などにより、市町村において公正証書作成支援の取組が進むよう、県として積極的に働きかけていく。

岡村再質問：財政的な支援はできないか。

福祉部長再答弁：国の補助事業の活用を市町村に周知し、作成支援が進んでいくよう県としても全力で取組んでいく。

(3) 養育費の継続的な確保策の導入を

岡村質問：養育費の滞納があった場合、保証会社がひとり親家庭に立替払いをした上で、未納分を回収する制度となっている民間保証会社を活用し、市町村と連携し養育費確保策を進めていただけないか。

福祉部長答弁：民間保証会社の活用は、ひとり親家庭にとっては養育費が保証される上、離婚した相手と連絡を取る必要もなくなり、精神的な負担も軽減されるという利点がある。今後、その内容を広く県内に周知するとともに、市町村担当向けの勉強会を実施するなど養育費確保支援の促進を図っていく。

5 ターゲット・バードゴルフの普及と推進について

ターゲット・バードゴルフは、1985年に発表された埼玉県川口市発祥のスポーツで、昨今の健康ブームにおいては、特に高齢者スポーツとして全国的に親しまれている。

(2) ターゲット・バードゴルフの周知を

岡村質問：高齢者が参加しやすいイベント・事業等の好事例集にターゲット・バードゴルフを入れていただきたいがいかがか。

県民生活部長答弁：ターゲット・バードゴルフはこれまで掲載してこなかった。今後は、好事例を取材し、その都度ホームページに掲載するなど、高齢者が参加しやすく生きがいや健康増進に繋がるスポーツ・レクリエーションとして活動を広めていく。

8 屋内50メートル水泳場整備に向けて

埼玉県屋内50メートル水泳場及びスポーツ科学拠点施設整備地選定委員会において、屋内50メートル水泳場は川口市、スポーツ科学拠点施設は上尾市と分離設置の結論が出た。

(1) 今後の計画予定について

岡村質問：屋内50メートル水泳場及びスポーツ科学拠点施設整備事業費として15,183,000円が計上されているが、今年度はどこまで計画が進むのか。

県民生活部長答弁：今年度は、幅広い事業者の意見を聴取するサウンディング調査を行い、地元市とも調整を図り、施設の規模、配置計画、事業手法なども盛り込んだ基本計画案の策定を行っていく。

(2) 地元市との協議と緊密な連携を

岡村質問：川口市と協議と連携をとりながら計画を策定していくことが周辺住民の理解を得るためにも重要であると考えがいかがか。

県民生活部長答弁：様々な課題やご意見、ご要望は理解をしている。基本計画の策定にあたっては、周辺施設との効果的な連携や配置場所の課題について、地元住民の方にもご理解いただけるよう、川口市との綿密に連携を図り協議を進めていく。



ハッピーリリー 岡村通信



埼玉県マスコット「コバトン」 川口市のマスコット「きゅほらん」

発行責任者
無所属県民会議川口支部岡村ゆり子
〒332-0031
埼玉県川口市青木2-9-26アオキビル2F
TEL048-229-0530

Vol. 40 2021. 10

川口市の花は鉄砲ユリです
皆様と「住んでよかった。これからも住み続けたい」と
思える幸せなまちをつくりたいとおもいます。

皆様いかがお過ごしでしょうか。あっという間に過ごしやすい季節になりましたね。しかしながら、新型コロナウイルス感染症の収束が見えず医療・福祉に携わる皆様のご尽力に感謝いたします。それぞれができる感染予防対策を引続き行ってまいりましょう。

デルタ株感染拡大に関する緊急要望を提出

新型コロナウイルスの新規陽性者は増加の一途をたどり、重症者も増え、医療体制も逼迫し、入院や宿泊療養もままならず、自宅療養者が悪化しても入院できず、死亡する事例も発生してしまいました。様々な県の施策を総動員し、県民の命を守ることができるよう「新型コロナウイルス デルタ株感染拡大に関する緊急要望」全27項目を9月6日に所属会派・無所属県民会議から大野元裕知事に提出しました。要望内容を一部抜粋しご報告いたします。

<医療体制>

- ◆抗体カクテル療法の実施医療機関を増やすこと。またより多くの外来で対応できるよう支援すること
- ◆医療機関等が独自に酸素ステーションを設置する取組について、県として財政支援を行うこと
- ◆中等症専用の臨時仮設医療施設を増設すること

<教育局関係>

- ◆県教育委員会として、県立学校及び県内市町村立学校で働く教職員のワクチン接種状況を把握し、接種が進んでいない地域・学校のワクチン接種を推進すること
- ◆分散登校とオンライン学習の併用を行うにあたり、「学びの保障」「出欠席の取り扱い」「時数カウント」等の面において、各市町村教育委員会において適切に実施されているか実態を正確に把握し、児童・生徒に不利益が生じないようにすること

<妊婦支援>

- ◆現時点で優先入院とならない37週未満のコロナ陽性の妊婦に対する緊急時の対応について、県、保健所、埼玉県周産期医療施設を中心とした県内医療機関との間で対応をあらかじめ協議すること
- ◆ワクチン接種を希望する妊婦やその家族を埼玉県ワクチン接種センターの優先接種の対象とすること

<事業者支援>

- ◆協力支援金へのさらなる上乗せや融資に関する返済期間の延長を行うこと
- ◆温浴施設等の運営事業者に対する時短要請の徹底と独自の支援策を検討すること

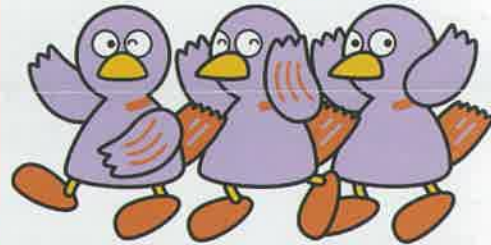


引続き会派一丸となり取り組んでまいります

無所属県民会議では、**新人発掘プロジェクト**を立ち上げました。議員になりたいけれど何からやればよいかわからないといった方々を応援するプロジェクトです。8月末をもって第1期（9月～12月）は締め切りましたが、お陰様で20名近い応募がありました。

私も講師として登壇する予定ですので、参加者の皆さんにとって有意義な研修となり後押しができるようしっかり取り組みます。

また、**川口市議会議員に立候補したい**とお考えの方がいらっしゃいましたらぜひご連絡ください。共にこれからの川口市をつくっていくことのできる無所属の仲間を増やしていきたいと考えています。よろしく願いいたします。



旧芝川サイクリングロードで鳩へのエサあげにより糞の被害もあり困っているとお声をいただきました。現場を確認に行き、担当課に注意喚起の看板を設置していただきました。公共の場ですので、多くの皆さんが気持ちよく利用できるようご協力お願いいたします。

令和3年6月定例会一般質問において「マスクができない方々がいるということの周知を」という質問をし、ヘルプマークの活用についても言及しました。早速県ホームページやFacebookで周知がなされました。これまでにない反響があったとのことでした。

～ヘルプマーク～

外見からわからない障がい等があり援助や配慮を必要としていることを知らせるマーク

【マスクをつけられない方を知っていますか？】
発達障害のある方など、触覚・視覚等の感覚過敏といった特性により、外出先でのマスク着用が困難な方がいます。
街中でマスクをつけていない人を見かけたら、「何か事情があるのかもしれない」と想像してみてください。
マスクの着用が困難な方がいることを知り、思いやりのある行動をお願いします。
なお、このような方は、外見からは分かりづらい障害などにより周囲の方々への援助や配慮を希望することを示す「ヘルプマーク」をつけている場合があります。
私たちの周りには障害のある方がいることを知り、その特性や困窮表示を正しく理解し、お互いに思いやりの心を持って過ごしましょう。
詳しくはこちらから
<https://www.pref.saitama.lg.jp/a0604/helpmarkmask.html>



管理事務所や礼拝堂等が老朽化しており、運営に関しても今後検討が必要となる川口市立安行霊園の視察に最上市議と行きました。墓地は284区画あり、ほぼ空きがないとのことでした。



インターン生を受入れました

若者の投票率向上を目指し活動されているNPO法人ドットジェイピーよりご紹介いただき、大学が夏休みの2カ月間インターン生と共に活動しました。とても勉強熱心でしたし、柔軟な発想に刺激を受けました。以下インターン生の感想になります。

約二カ月間岡村議員の元でインターンシップをさせて頂きました。具体的な活動としてポスター貼りや施設訪問、勉強会の参加等を行いました。また他の市議選挙のお手伝いなど普段の学生生活ではなかなか出来ない、貴重な経験もたくさんさせて頂きました。

インターンシップを通して、政治をより身近に感じるようになりました。今までは“政治”や“議員”と聞くと、難しくどこか他人事のように感じていました。しかし想像以上に身近なものだと気づきました。私たちの周りには多くの制度や支援策がありますが、その一つ一つが議員の方々、県や市の職員の皆さんの尽力によるものだと改めて気づかされました。一大学生として政治に関わっていくために、まずは関心を持って知るという事が大切だと思いました。選挙が最も直接的に政治に参加できる機会であると思いますがそれ以外でも、国や自分の住んでいる地域でどのような政策が行われているのか、そしてそれに対して自分なりの考えを持つことで政治に参加していきたいと思えます。

今回学んだことをしっかりと今後の学校生活に活かしていきたいです。岡村議員、本当にありがとうございました。



ポスター貼り



県庁での勉強会



ハッピーリリー 岡村通信



埼玉県マスコット「コバトン」 川口市のマスコット「きゅほらん」
発行責任者
無所属議員会議員川口市支部岡村ゆり子
〒332-0031
埼玉県川口市青木2-9-26アオキビル2F
TEL048-229-0530

Vol. 41 2021. 11

川口市の花は鉄砲ユリです
皆様と「住んでよかった。これからも住み続けたい」と
思える幸せなまちをつくりたいとおもいます。

令和3年度9月定例会

埼玉県議会令和3年度9月定例会は、9月24日(金曜日)から10月14日(木曜日)まで行われましたので、ご報告いたします。

開会日 9月24日

知事提出議案について、知事から提出説明が行われました。

一般質問 9月30日～10月6日

15名が登壇し、県政に関わる提案・質問を行いました。我が会派からは、石川ただよし議員(久喜市)と杉田しげみ議員(熊谷市)が登壇いたしました。

常任委員会 10月8日 文教常任委員会

<付託議案>

- ・財産の取得について(県立高等学校の実習において使用する産業教育設備)
- ・学校職員の給与に関する条例及び会計任用学校職員の報酬等に関する条例の一部を改正する条例

<岡村質疑>

- ・レーザー加工機や3Dプリンタなどを導入することにより、電気代や日常のメンテナンス費はどのくらい増額になると見込んでいるか
- ・新規で導入する機械の指導力はどのように高めていくのか

特別委員会 10月11日 新型コロナウイルス感染症対策特別委員会

<岡村質疑>

- ・自宅療養者への配食サービスの内容について
- ・ブースター接種(3回目接種)を行うことになった際は市町村支援が必須だがいかがか
- ・県が設置している4カ所のワクチン接種センターの空き状況と今後の運営、周知について

特別委員会 10月12日 少子・高齢福祉社会対策特別委員会

<報告内容>

- ・地域医療について

<岡村質疑>

- ・がん検診の受診率向上に向けて効果的な周知と市町村との連携について
- ・備蓄している医薬品の更新時期と無駄のない活用について
- ・薬剤師災害リーダーと災害時の薬局の体制強化について

閉会日 10月14日

討論・採決が行われ、全ての議案が原案通り可決いたしました。



令和4年度 埼玉県予算編成に関する要望書 提出

政策提言に繋がる事項を中心に「令和4年度 埼玉県予算編成に関する要望書」を取りまとめ、知事に提出しました。

県政全般に関わる事項**365**項目、各地元要望**235**項目、合計**600**項目。以下を軸として構成しました。

○「新型コロナ打撃(ショック)からの回復」

- ・中小企業等へのDX化支援
- ・地域商業活性化のためのイベント開催支援
- ・県産米の消費拡大
- ・コロナ禍で増加した女性の自殺対策や高齢者・妊婦等の孤立対策 など

○「新しい時代を切り拓く公教育の推進」

- ・県立中高一貫校の推進
- ・Edtechの活用 など

○「子供の命を守る施策への重点投資」

- ・社会的擁護の充実
- ・児童虐待防止対策の強化 など

○「気候危機に打ち勝つ埼玉県政」

- ・太陽光パネル設置に起因する崩落防止策の実施
- ・県民総ぐるみで埼玉版スーパー・シティプロジェクトの推進 など



会派で勉強会を開催しました

所属会派・無所属県民会議で「社会的擁護を知り 児童虐待を考える」という内容の勉強会を開催しました。県内外の議員や職員の参加もありました。

児童養護施設でそだった方々のお話は、胸が締め付けられる思いでした。

自分の意思で明日を選ぶことができるようになる社会にしていきたいです。

これまで一般質問でも発言してきましたが、児童相談所は県の所管ですし、川口市が中核市になり、自前の児童相談所を設置することもできます。

未来が明るくなるよう引続き調査を重ね、会派としても、個人としても取り組んでまいります。

実りある勉強会となりました。



エスカレーターは止まりましょう

埼玉県では、「埼玉県エスカレーターの安全な利用の促進に関する条例」が、令和3年10月1日に施行されました。

本条例においては、エスカレーターの利用者の義務として「立ち止まった状態で利用しなければならない」と定めるとともに、管理者の義務として「利用者に対し、立ち止まった状態でエスカレーターを利用すべきことを周知しなければならない」と定めています。(共に罰則はありません)

通勤時間帯や急いでいるときはつつい歩いてしまいがちですが、皆さんが安全に利用することができるよう、ご協力よろしくお願いいたします。



埼玉県議会議員 岡村ゆり子 プロフィール

- ・昭和56年4月、川口市東内野に生まれる。
- ・川口市立差間小学校・北中学校、私立恵泉女子学園高等学校、フェリス学院大学 文学部卒業
- ・明治大学専門職大学院ガバナンス研究科 修了。
- ・父・幸四郎の事務所を手伝いながら、テレビ局に勤務。(2014年7月に退社)
- ・2015年5月・2019年3月 川口市議会議員
- ・2019年4月 埼玉県議会議員
- ・所属委員会 文教委員会 少子・高齢者福祉社会対策特別委員会 新型コロナウイルス感染症対策特別委員会
- ・趣味 スポーツ観戦(Jリーグ開幕以来、浦和レッズ一筋です。)、筋トレ、フラワーアレンジメント
- ・好きな食べ物 チョコミント味のもの
- ・好きな言葉 志あるところに道は開ける
- ・Facebookをやっています「岡村ゆり子」で検索してください。





ハッピーリリー 岡村通信



埼玉県マスコット「コバトン」 川口市のマスコット「きゅぼらん」

発行責任者
無所属県民会議川口支部岡村ゆり子
〒332-0031
埼玉県川口市青木2-9-26アオキビル2F
TEL048-229-0530

2022年
新年号

川口市の花は鉄砲ユリです

皆様と「住んでよかった。これからも住み続けたい」と
思える幸せなまちをつくりたいとおもいます。

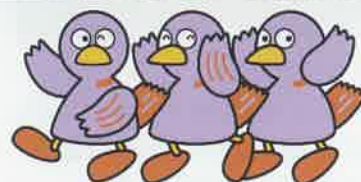
いつもありがとうございます。県議会議員の岡村ゆり子です。
今回の通信は、これまでの一般質問の発言から進展のあったものや昨年の活動等について新年号として作成いたしました。
本年も岡村通信で議会報告含めお伝えしてまいりますのでよろしくお願いいたします。頑張ります！

旧鳩ヶ谷教職員住宅の解体始まる

令和2年6月定例会において、「旧鳩ヶ谷教職員住宅の方向性を早期に定めるべき」という質問をしました。

旧鳩ヶ谷教職員住宅は平成23年度末に廃止となり未使用の状態が続いていました。周辺にお住まいの方々から、防犯や防災の点からいつまでそのまましておくのかといったお声をいただいていた。

埼玉県と川口市の協議を早急に行い、利活用の可能性はあるのか、土地を民間売却するのかなど様々な想定を行ったうえで早期解決を求めています。その結果、まずは県が解体工事を行うこととなりました。工期は令和4年3月25日までの予定です。解体後の土地の活用については現在協議中です。



令和3年6月定例会において、「ターゲットバードゴルフの普及と推進について」という質問を行いました。

埼玉県川口市発祥のスポーツということで、初めて埼玉県のスポーツ専門サイトに掲載されました。

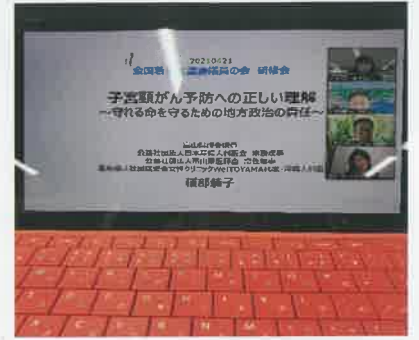
令和3年 活動報告



1月はコロナウイルス感染症が蔓延していたため新年会などはすべて中止となりました。仲間の市議さんたちと川口市立看護専門学校に視察に行きました。



2月3月は定例会、予算委員会が開かれました。一時保護所の現状と課題について会派で勉強会を行いました。



4月は2回の臨時会が開かれました。学びを止めないようオンラインでの研修会に多く参加しました。



5月も2回の臨時会が開かれました。埼玉県高齢者ワクチン接種センターの想定リハーサルに参加しました。



6月は2回目の一般質問を行いました。新型コロナウイルス感染症対策特別委員に選任されました。



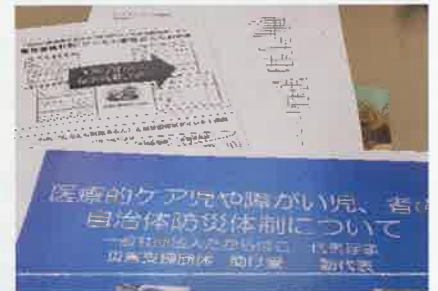
7月8月にもそれぞれ臨時会が開かれました。インターン生(大学生)を受け入れ2カ月間一緒に活動しました。



9月は定例会。議員を目指す方々を応援する新人発掘プロジェクトを始めました。



10月は児童養護施設で育った方からお話をうかがう勉強会を会派で行いました。後日埼玉新聞にも掲載されました。



11月は医療的ケア児や障がい児、者の自治体防災体制について会派で勉強会を行いました。



12月は定例会。議案に関する視察を行いました。拉致被害者救出の署名活動を浦和駅西口で行いました。





ハッピーリリー 岡村通信



埼玉県マスコット「コバトン」 川口市のマスコット「きゅほらん」

発行責任者
無所属県民会議員川口支部岡村ゆり子
〒332-0031
埼玉県川口市青木2-9-26アオキビル2F
TEL048-229-0530

Vol. 42 2022. 1

川口市の花は鉄砲ユリです
皆様と「住んでよかった。これからも住み続けたい」と
思える幸せなまちをつくりたいとおもいます。

令和3年度12月定例会

埼玉県議会令和3年度12月定例会は、12月2日(木曜日)から12月22日(水曜日)まで行われましたのでご報告いたします。

開会日 12月2日

知事提出議案について、知事から提出説明が行われました。

一般質問 12月8日～14日

15名が登壇し、県政に関わる提案・質問を行いました。我が会派からは、平松大佑議員(新座市)と柿沼貴志議員(行田市)が登壇いたしました。

文教常任委員会 12月16日

<付託議案>

- ・快適ハイスクール施設整備についての補正予算(県立高等学校のトイレ整備事業)
- ・指定管理者の選定について(埼玉県立名栗げんきプラザ)

<岡村質疑(一部抜粋)>

- ・みんなのトイレやだれでもトイレの整備はいかがか
- ・申請団体が1団体しかなく競争原理が働かない。どのように考えているか

新型コロナウイルス感染症対策特別委員会 12月17日

<岡村質疑(一部抜粋)>

- ・埼玉県感染防止対策協力金の申請で保留対応中になっているものはいつまで対応するのか
- ・イベント主催者は感染防止安全計画を提出する。現状のものだと記入責任者や問合せ対応責任者を書く欄がない。設けるべきと考えるがいかがか

少子・高齢福祉社会対策特別委員会 12月20日

<報告内容>

- ・高齢者施策について
- ・介護ロボットの実演

<岡村質疑>

- ・シルバー人材センターの会員確保策はどのようにしているか
- ・高齢者の就労に結び付くよう派遣先を拡大すべきと考えるがいかがか
- ・介護の魅力PR隊の選任方法と幅広い年齢へのアプローチは

閉会日 12月22日

討論・採決が行われ、5ヵ年計画案は会派で修正案を提出し修正案が可決。他は原案通り可決いたしました。



新型コロナワクチン追加接種(3回目接種)について

昨年末より医療従事者等へのコロナワクチン3回目接種が始まりました。市町村では、2回目接種からおおむね8か月経過後としています。今後のスケジュールと埼玉県が設置予定のワクチン接種センターについてお知らせいたします。(埼玉県HP、川口市HPより引用) 引続きの感染予防対策もよろしくお願いいたします。

新型コロナワクチン追加接種(3回目接種)のお知らせ

※12月21日現在の状況です。

国が市区町村に供給するワクチンの種類はファイザー社製とモデルナ社製で、割合は6:4の予定です。

今後の接種スケジュール(予定)

2回目接種終了月	令和3年 6月	7月
3回目接種開始月	2月～	3月～

※2回目接種から8か月経過後とした場合のスケジュールです。

1月の接種券発送日(予定)と対象者

接種券発送日(予定)	対象者(2回目接種終了日)
1月13日(木)	令和3年6月1日～21日
1月下旬	令和3年6月22日～7月2日

1・2回目の接種をこれから受けられるかへ

市ホームページで接種可能な医療機関を掲載していますので、予約方法などをご確認ください。

市コロナワクチン接種コールセンター

050-3160-9567 (24時間自動応答)

オペレーター対応時間 9:00～18:00 (1月3日まで休業)

市職員が予約をサポートします

- 市内公民館(火～日曜、祝日 9:00～17:00)
 - 市役所第一本庁舎6階4番窓口(平日 9:00～17:00)
- 接種券をご用意ください。

※Web予約などモデルナワクチンが不足になる場合があります。

接種場所と使用するワクチン

個別接種 市内医療機関(ファイザー社製を予定)
市ホームページまたは4・5ページの「医療機関一覧」で予約方法などをご確認ください。



集団接種 旧そごう川口店 1階 (当初はファイザー社製を予定)
予約受付:1月15日(土)～ 接種開始:1月18日(火)～
市予約システムまたは市コールセンターで予約してください。

※接種券が届いてから予約してください。

交互接種した場合の効果と安全性

追加接種では、初回接種(1・2回目接種)とは異なる種類のワクチンを接種できます(交互接種)。交互接種をした場合、中和抗体値は良好に上昇すること、また、副反応は初回接種時と同程度であり、同種接種との差は無いことが米国の研究結果として報告されています。

1回目	2回目	3回目	中和抗体の値 (3回目接種前比)
モデルナ社製	モデルナ社製	モデルナ社製	10.2倍
		ファイザー社製	11.5倍
ファイザー社製	ファイザー社製	ファイザー社製	20.0倍
		モデルナ社製	31.7倍

※「厚生科学審議会予防接種・ワクチン分科会」資料から引用

1 接種券発送スケジュール

今後の接種券の発送件数と発送日(予定)

2回目接種日	発送件数	発送日
令和3年6月1日～6月21日	約32,000件	令和4年1月13日(木曜日)
令和3年6月22日～6月28日	約19,000件	令和4年1月18日(火曜日)
令和3年6月29日～7月2日	約16,000件	令和4年1月24日(月曜日)
令和3年7月3日～7月7日	約18,000件	令和4年1月31日(月曜日)



埼玉県PCR検査等無料化

埼玉県では、健康上の理由(基礎疾患や副反応など)等により、新型コロナウイルス感染症のワクチンが接種できない無症状の方が、「ワクチン・検査パッケージ」等のために必要となる検査(PCR検査・抗原定性検査)を無料化しています。

令和3年12月28日からは、感染リスクが高い環境にある等感染に不安を感じる無症状の埼玉県民の方は、県内薬局・ドラッグストアにて無料で検査を受けられるようになりました。

～川口市内実施事業者～

- ・ウエルシア薬局川口栄町店
- ・ウエルシア川口芝薬局
- ・ウエルシア薬局川口駅東口店
- ・ウエルシア薬局川口伊刈店
- ・ウエルシア薬局川口芝樋ノ爪店
- ・ウエルシア薬局川口朝日5丁目店
- ・ウエルシア薬局東川口店
- ・ウエルシア薬局川口東本郷店
- ・ウエルシア薬局川口峯店
- ・ウエルシア薬局川口北園店
- ・ウエルシア薬局川口北原台店
- ・ウエルシア薬局川口領家店
- ・田辺薬局川口榛松店

埼玉県南部ワクチン接種センターにおける追加接種の開始

- ・2月から高齢者(施設入所者等以外)の追加接種の接種間隔が8か月以上から7か月以上に前倒しされます。
- ・多くの高齢者が令和3年7月までに2回目の接種を完了したことを踏まえ、

令和4年2月から埼玉県南部ワクチン接種センターにおいて追加接種を開始します

概要

▶開始予定日 令和4年2月1日～(土日祝日も稼働)

▶接種会場 埼玉県南部ワクチン接種センター
【埼玉県浦和合同庁舎(JR北浦和駅徒歩10分)】

▶ワクチン 武田/モデルナ社製ワクチン

▶接種人数 1日最大1,000人程度を想定

対象者

- 県全域の3回目接種対象者(3回目接種券をお持ちの方)
- 65歳以上の高齢者(施設入所者等以外)で2回目接種後7か月以上経過した方
- 上記の他、2回目接種後8か月以上経過した方

～予約方法や受付開始時期は、準備でき次第、発表します～

2022年も頑張ります！

皆様におかれましては2022年の新春お健やかに迎えのこととお慶び申し上げます。2022年のスタートは、例年通り荒川土手でのラジオ体操後初日の出を皆さんと拝むことができました。力強い光にパワーをもらいました。体調管理には十分気を配り、本年も皆様の声をかたちにしていけるようひとつひとつ全力で取り組んでまいります。元気があればなんでもできる！



埼玉県議会議員



柿沼貴志

郷土の声を県政に



希望の芽を出せ 柿の種

柿沼貴志のプロフィール

- 昭和50年11月11日生まれ
- おもと幼稚園～桜ヶ丘小学校～長野中学校～羽生第一高校
- 小中と野球少年だったが、高校から空手道に励む
- 趣味: 自転車、野球、ソフト、カラオケ
- 平成23年 行田市議に初当選(1759票)
- 平成27年 県議選に初挑戦(12,752票 次点)
- 平成31年 県議選に於いて15,253票の信託を頂き初当選 無所属県民会議(14名第二会派)にて活動中!
- 朝の清掃&挨拶活動は11年目に突入、1,000回を超え継続中!
- 県民の声を県政に届ける為各地でミニ集会を実施中!

発行・連絡先

埼玉県議会議員 柿沼貴志 事務所
〒361-0077 行田市忍 2-17-12

TEL 048-554-1377 FAX 048-577-3154
e-mail : takashi-kakinuma@mbr.nifty.com

柿沼貴志

検索

令和3年度当初予算案

2兆1,198億4,300万円

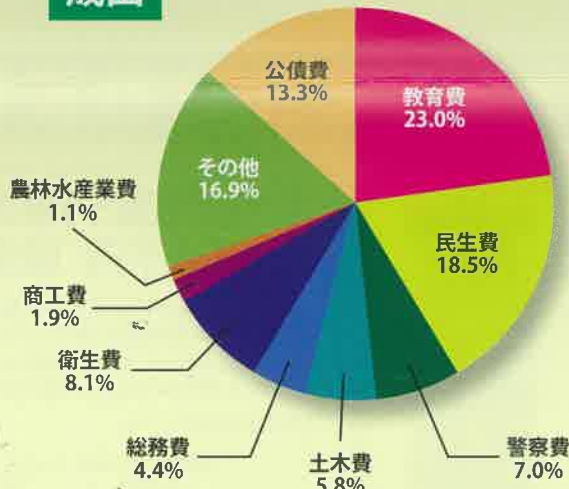
補正後累計

2兆1,393億6,522万円

歳入



歳出



主な内容

新型コロナウイルス感染拡大防止

- ◆「新しい生活様式」の県民・事業者の皆様への働き掛け
- ◆介護施設や飲食店等の感染防止対策の支援

医療提供体制の強化

- ◆医療機関向けの補助を拡充することによる検査・医療提供体制の更なる強化

激甚化・頻発化する降雨への備え

- ◆国の補正予算の活用
- ◆国や市町村と連携した調節池の整備など「流域治水」を推進し県土全体を強靱化

児童相談所の体制強化

- ◆令和5年度の開所を目指した熊谷児童相談所の建て替えに併せて新たに一時保護所を設置

手続きのオンライン化を推進

- ◆ワンストップ実現のための新たなシステムの整備

中小・小規模事業者の資金調達の円滑化を支援

- ◆制度融資枠を6,500億円に拡充するとともに利子補給率の拡大や融資要件の緩和

男女ともに働きやすい環境を広げる

- ◆「多様な働き方実践企業」の認定を進める
- ◆働き方改革や男性育児休業の推進等に取り組む企業をアドバイザー派遣やセミナー開催などにより支援

グローバル化など時代の変化に対応する教育を推進

- ◆県立高校生を対象として新たにオンラインと現地訪問を組み合わせた国際交流の実施

令和3年度重点施策

安心・安全の強化

- ① 感染拡大防止と医療提供体制の強化
- ② 危機や災害に強い埼玉の構築
- ③ 県民の暮らしを守る

DXの推進と県経済の回復・成長

- ① デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進
- ② 埼玉の稼げる力の向上
- ③ 魅力ある埼玉の発信

持続可能で豊かな未来への投資

- ① 埼玉版SDGsの推進
- ② 誰もが活躍できる社会の実現
- ③ 未来を見据えた基盤づくり

柿の種 架け橋プロジェクト

1 地域の安全を守る!



地域の要望をいただき、さきたま古墳公園付近の野合新橋交差点に横断歩道の設置が実現しました。

2 地域の安心を守る!

台風や大雨による洪水被害を最小限に抑えるための忍川のかさ上げ工事が完了しました。引き続き川底の浚渫(ヘドロや土砂の除去)を要望していきます。



令和3年度 予算特別委員会

① 地域公共交通観光利用促進事業費

Q 秩父鉄道がICカード乗車券システムを導入する経緯と県が負担する理由とは何か？

A 国の補助金の活用が目途がついたため、令和3年度に事業化をした。地域活性化を考える上で、ICカード乗車券の導入により、西武鉄道、東武鉄道、JRなどの他社との連携もしやすくなり、利用者の利便性向上と秩父鉄道により一層の利用者の増加に貢献できるのではないかと考えている。県内の鉄道でICカード乗車券が導入されていないのは、秩父鉄道だけであるため、是非ともこれを解消していきたい。

Q 秩父鉄道は北部地域の住民にとって非常に重要な鉄道であるため、継続的な支援を求む。コロナ禍なので接触しないようにということも踏まえながら、導入による効果についてどのように考えているか。

A 利用者の利便性の向上が図られる。秩父地域や県北地域は観光資源に恵まれており、秩父・長瀬や行田など観光のポイントはたくさんあるため、そのようなところのアクセス改善が図られる。コロナ禍であるため、接触しないようになり感染防止対策にも資すると考えている。上記の理由からも今後も安全管理システムの維持など協力していく。

② 移住の促進と地域の関わりの創出

Q 国の地域おこし協力隊は、現在県内でいくつの市町村で何人活動しているのか。今後の活動強化に向けて、どのように取り組んでいくのか。

A 令和3年3月1日現在の地域おこし協力隊員数は、9市町村で隊員数は44名である。県内で国の制度が活用できるのは、過疎法や山村振興法が適用される条件不利地域等のエリアに限られており、実際に活用できるのは13市町村である。この制度を補う意味で、本県独自に、埼玉版「地域おこし協力隊」制度を設け、行田市を含む8市町村が対象となっている。



③ いじめ・不登校対策相談事業

Q 「教育相談体制の整備・充実」の中で、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、高校相談員など、専門職や相談を専門に受ける人員の配置をしている。こうした外部人材を活用した対策は、多様化する生徒の悩みの対応に大変重要だと考えるが、県の考えを伺う。

A 様々な課題を抱える児童生徒に対して適切な支援を行うためには、学校が組織的に対応することがまず重要であると考えております。そのうえで、組織的に対応するためにも、教員の力だけでなく、生徒の身近な存在である相談員、必要に応じて専門的な知識・経験を有するスクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーなどの支援が必要であり、こうした点で、外部人材の役割は大変重要だと認識している。

Q 生徒に対する手厚い支援が求められている中、現状の配置では不十分。スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーに常に相談できるような体制を整えるべきであり、そのためには、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーを常勤化すべき、また選ばれる職業になるには給与の保障や福利厚生等の充実が必要である。そのため給与は月額で支給するべきと考えるが如何か。

A 教員が生徒に寄り添った支援をするための力量を上げていくことが何よりも大切だと認識している。そのために、専門家の知見や経験を活用している。専門職に任せきりになってしまえば、本末転倒。常勤化については、委員から再三御指摘いただいているところではありますが、国の行っている調査研究の動向を注視しながら、配置の在り方を検討していく。

④ 感染症対策事業

Q 病院内クラスターの発生は、院内のみならず地域への影響も大きいので、より強い対策を講じる必要がある。埼玉県ではクラスター対策チーム(通称:COVMAT)を設置しているが、その実績と効果をどのようにとらえているか。

A COVMATが初期段階で介入した場合には患者の続発を抑えることができた。また、療養型病床や精神科病棟では院内感染対策の専任担当者がいない場合が多く、感染症対策を専門とする医療スタッフからの支援は特に有効であった、と聞いている。高齢者施設でクラスターが発生した場合も感染対策の専門家はいたため施設内の指導は極めて有効だったと伺っている。

Q 県内ではCOVMAT以外に医療機関でクラスターが発生した場合、どのような支援策があるのか。

A 保健医療部長 第3波の感染拡大期においてはCOVMATを派遣する医療機関自体が多くの患者を受け入れていたため、COVMATの派遣そのものが大変難しい状況を迎えた。この際には、感染管理認定看護師を派遣するような対応を複数回行っている。



柿沼の質問が予算化されました。

秩父鉄道ICカード乗車券システム導入に係る埼玉県の補助金について

事業概要

秩父鉄道が令和3年度末までに導入予定としているICカード乗車券システムにかかる導入費用に対し補助を行うことで、利便性向上と長期的な利用促進を図る。
また、非接触型ICカード乗車券システムの導入で、新型コロナウイルス感染防止対策を図る。

予算額(県補助額)

135,000千円

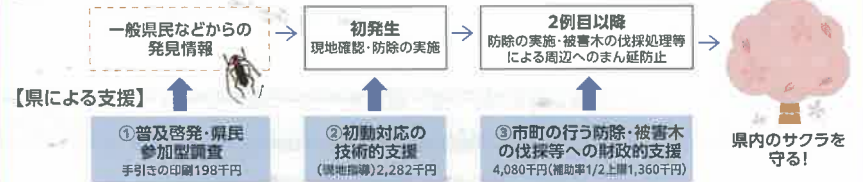


簡易改札機[イメージ]

令和3年度 外来カミキリ対策事業 6,560千円 環境部みどり自然課

- 県内のクビアカツヤカミキリ発生状況は前年度と比較して、12市から16市町に増加。被害にあった木の本数は738本から1031本に増加している。
- クビアカツヤカミキリの被害の約80%はサクラであり、侵入地域が限定されている現時点で市町村と連携して、更なるまん延防止措置を行わない場合、県内全域に被害が広がる。

【市町村の防除フロー】



行田市に関わる県の事業

まち並み景観形成の促進

① 目的
地域の活性化やにぎわいの創出を図るため、誰もが「訪れたい」、「誇りに思える」まち並み景観の形成を促進する。

② 事業の内容
「まち並み景観づくり」に積極的に取り組んでいる行田市の八幡通りをモデル区間として選定し、同市の取組を支援する。

- (1) 景観整備への助成(補助金)
- ・統一感のあるまち並み景観を整備するための計画策定
 - ・建物等の外観修繕工事
- (2) 勉強会への支援
- ・住民の意識醸成等を促進するための勉強会への講師派遣等

③ 令和3年度予算額 10,584千円



古墳を活かす、古墳でつながる! 文化財活用プロジェクト

2020年3月、行田市にある埼玉(さきたま)古墳群が国の特別史跡になりました。特別史跡は、史跡の中でも学術上の価値が特に高く、日本文化の象徴となるものとされています。これを契機として、埼玉古墳群を中心とする県内の古墳にスポットを当てた事業です。

■古墳ミトン&スリッパ
ミトン1個2,500円(税込)
スリッパ1足4,000円(税込)

■埼玉古墳群チョコレート(試作中)

■盾持人にはわのミニフォークセット(試作中)

TEL:048-553-2239 TEL:048-559-2507

埼玉県議会の内容は
埼玉県のホームページでご確認ください。

県政に対する要望やご意見は
表紙にある柿沼貴志事務所へ
メールか電話・FAXでご連絡ください。

県政報告会、ミニ集会、講演依頼など市内どこでも
出張しますのでお気軽にお問合せください。

埼玉県議会議員



柿沼貴志

郷土の声を県政に



希望の芽を出せ柿の種

柿沼貴志のプロフィール

- 昭和50年11月11日生まれ
- おもと幼稚園～桜ヶ丘小学校～長野中学～羽生第一高校
- 小中と野球少年だったが、高校から空手道に励む
- 趣味:自転車、野球、ソフト、カラオケ
- 平成23年行田市議会議員に初当選(1,759票)
- 平成27年 県議選初挑戦(12,752票 次点)
- 平成31年 県議選に於いて15,253票の信託を頂き初当選
- 無所属県民会議(14名第二会派)にて活動中!
- 朝の清掃&挨拶活動は11年目に突入、1,000回を超え継続中
- 県民の声を県政に届ける為各地でミニ集会を実施中!

発行 連絡先
 埼玉県議会議員 柿沼貴志 事務所
 〒361-0077 行田市忍 2-17-12

TEL 048-554-1377 / FAX 048-577-3154
 e-mail : takashi-kakinuma@mbr.nifty.com

柿沼貴志

令和3年 7月補正予算
 令和3年度埼玉県一般会計補正予算

683億6,781万5千円

累計予算額

2兆3,878億7,062万2千円

6月議会・7月臨時議会の主な内容

感染拡大の影響を受けている事業者への支援

- ◆外出自粛等による影響を受けている事業者への支援
- ◆酒類の提供自粛等による影響を受けている酒類販売事業者への支援
- ◆感染防止対策の強化等に取り組む宿泊事業者への支援
- ◆感染防止対策に取り組む地域公共交通事業者への支援
- ◆県公式観光サイト「ちょこたび埼玉」を活用した県産品製造事業者への支援
- ◆高齢者・障害者入所施設及び通所施設の職員に対するPCR検査の実施
- ◆飲食店等に対する営業時間短縮要請等に伴う感染防止対策協力金の支給
- ◆大規模施設等に対する営業時間短縮要請等に伴う感染防止対策協力金の支給
- ◆彩の国「新しい生活様式」安心宣言飲食店+（プラス）等に係る現地確認

新型コロナウイルスワクチン接種体制の強化

- ◆個別接種促進に向けた医療機関への支援
- ◆市町村の接種体制を補完する県集団接種会場の追加設置・運営
- ◆中小企業の共同実施や大学等による職域接種への支援

生活に困っている人々への支援

- ◆生活福祉資金特例貸付の受付期間延長に伴う助成
- ◆新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金の支給



県政に対するご意見ご要望は
 柿沼貴志事務所までご連絡ください



県政報告、ミニ集会、講演依頼等市内何処でも
 お伺い致しますのでお気軽にお声がけください

県土都市整備委員会

◆首都高速道路の料金改定について

柿沼質疑 ⇒ 上限が引き上げられたことによって、県民の利益を損なっていないか？

執行部答弁 ⇒ 現状の利用者で今回の改正によって影響のある人はごく一部2割程度である。大口・多頻度割引や夜間割引の拡充などでバランスをとる。

柿沼再質疑 ⇒ 影響ある人が2割の根拠は？

執行部答弁 ⇒ 首都高速道路株式会社から口頭でそう説明された。ご理解いただきたい。

柿沼要望 ⇒ しっかりとデータを取って検証してほしい。

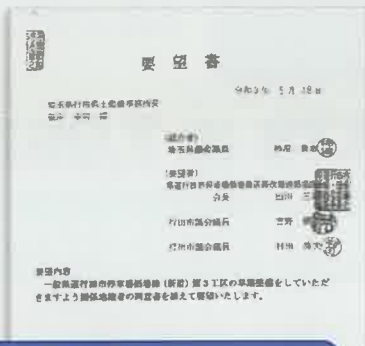


画像で観る活動風景

予算が付きました



県道行田市停車場酒巻線 要望活動



ワクチン接種会場視察



県政報告



地元育成会 環境整備花植え事業



駅頭にて県政報告



山野草展示会



田んぼアート田植え



インターン生交流

さきたま火祭り



空手道稽古指導



柿沼の種 架け橋 プロジェクト

市民の皆様から頂いたご意見をしっかりと県に働きかけ様々な安全安心を実現しています。

現在の様子



以前



市内谷郷地区の県道に右折帯の設置



市内長野地区、白山古墳裏（北側）長年要望
いただいていた **U字溝の設置** が実現しました。

埼玉県議会議員

県政報告



無所属 県民会議

柿沼貴志

郷土の声を県政に



希望の芽を出せ 柿の種

柿沼貴志のプロフィール

- 昭和50年11月11日生まれ
おいもと幼稚園～桜ヶ丘小学校～長野中学校～羽生第一高校
- 小中と野球少年だったが、高校から空手道に励む
- 趣味:自転車、野球、ソフト、カラオケ
- 平成23年 行田市議に初当選(1759票)
- 平成27年 県議選に初挑戦(12,752票 次点)
- 平成31年 県議選に於いて15,253票の信託を頂き初当選 無所属県民会議(14名第二会派)にて活動中!
- 朝の清掃&挨拶活動は11年目に突入、1,000回を超え継続中!
- 県民の声を県政に届ける為各地でミニ集会を実施中!

発行・連絡先

埼玉県議会議員 柿沼貴志 事務所
〒361-0077 行田市忍 2-17-12

TEL 048-554-1377 FAX 048-577-3154
e-mail : takashi-kakinuma@mbr.nifty.com

柿沼貴志

検索

令和3年9月補正予算

1,271億6,885万円

補正後累計

2兆5,956億2,572万8千円

主な内容

医療提供体制等の確保・強化

- ◆検査や入院医療費の公費負担
- ◆入院に必要な病床を確保するための空床、休止病床に対する補助や入院患者受入協力金を支給

県内経済活動の回復とウィズコロナ・ポストコロナ社会への対応

- ◆「事業再構築支援センター(仮称)」を県商工会議所連合会及び県商工会連合会に設置
- ◆国の補助メニューの活用に向けて専門家派遣による事業再構築に係る計画策定等の支援
- ◆コロナ禍における経済社会の変化に対応した県内中小企業の業態転換などを促進

急激な感染拡大にも対応可能な運営体制の強化

- ◆自宅療養者の健康観察の実施について、保健所における看護師等を増員
- ◆宿泊・自宅療養者支援センターの人員を大幅に拡充

県内企業のデジタル実装を加速させる

- ◆金融機関をはじめ、国、県、市町村や経済団体、各種の県内支援機関が相互に連携した「DX推進支援ネットワーク」を構築
- ◆先進事例などを集約したワンストップウェブサイトによる情報提供などを実施

このほかに...

国庫補助事業の内定差が生じたことによる公共事業等の追加及び適正工期を確保するための繰越明許費の設定など

私たちの会派「無所属県民会議」が、大野知事に対し ”令和4年度予算要望書”を提出しました。

大きな柱として

- ① 新型コロナ打撃からの回復
- ② 新しい時代切り開く公教育の推進
- ③ 子供の命を守る施策への重点投資
- ④ 気候危機に打ち勝つ県政

地元からと各種団体の予算要望を全体で600項目と、新型コロナの第六波に備えた医療体制の整備も直接お願いしました。



柿沼貴志が 一般質問に立ちます。



12月10日(金)
13時～(予定)

インターネットでライブ中継も行っております。後日テレビ埼玉(地デジ3チャンネル)でも放送します。こちらもご覧ください。

柿の種 架け橋 プロジェクト

地域の安全を守る!

佐間ベルク脇の五差路交差点に歩行者信号が設置されました。



私が県議になる前からずっと相談されていた佐間ベルク脇の五差路交差点に歩行者信号が設置されました。ここは交通量も多く通学路になっていて道を渡るまでにコの字型に4回道路を横断しなければならなかったのですが、信号機と歩道の距離が法定よりどうしても遠くなってしまっていたのでなかなか実現しませんでした。が、県が知恵を絞って歩行者信号機を支柱から持ち出してくれたお陰で横断歩道と歩行者信号機の設置が実現しました。これで通学する児童生徒も危険な横断をせずに済みます。ご協力いただいた皆様ありがとうございました。



緑のラインで4回渡らないと水路わきの通学路を真直ぐ進めませんでしたが、赤のラインに歩行者信号と横断歩道が設置されたことにより、安全に1回で渡れるようになりました。



児童生徒目線で撮影した同じ場所です。これからも市民の方々の要望をもとに県に要請していきます。



南河原の犬塚付近交差点に横断歩道が設置されました。

要望いただいていた犬塚付近の交差点にも横断歩道の設置が実現しました。道路が綺麗になり、交通量が増えた個所で危険な交差点でしたが、関係各位の皆さんが早期に対応してくださり感謝しております。バス停も近くにありますのでひと安心です。危険な交差点など気付いたところがあればご連絡ください。



柿沼の活動風景



▲行田レイズアップさんにて利用者さんに講義&意見交換



▲地域の声を県政に届けるためのミーティングや意見交換



▲行田市教育長と、市と県の連携について意見交換



▲地元育成会で中学生と共にグリーンアリーナ階段脇花壇と駐車場入口付近の花壇に環境美化運動で花植え事業を行いました。



行田市に関わる事業

リアル宝探しイベント ぎょうだ de 宝探し

開催期間 2021年 10月2日(土) ▶ 12月4日(土)

行田市の各地で無料配布している冊子を手に入れて謎を解いて宝探しをクリアしよう

右記場所でGETできます!
是非ご参加下さい!

- ◆ 行田市商工観光課
- ◆ 行田市おもてなし観光局
- ◆ 行田市商工会議所
- ◆ 行田市文化財保護課
- ◆ 行田市郷土博物館
- ◆ JR行田駅、吹上駅、北鴻巣駅
- ◆ 利根地域振興センター
- ◆ 県立博物館・美術館
- ◆ 行田市内店舗 (リーフレット「ぎょうだ de 宝探し」に掲載店舗)



詳しくはこちら <https://huntersvillage.jp/quest/gyoda>

埼玉県議会の内容は埼玉県のホームページでご確認ください。

県政に対する要望やご意見は表紙にある柿沼貴志事務所へメールか電話・FAXでご連絡ください。

県政報告会、ミニ集会、講演依頼など市内どこでも出張しますのでお気軽にお問合せください。

埼玉県議会議員



郷土の声を県政に



柿沼貴志

柿沼貴志のプロフィール

- 昭和50年11月11日生まれ
おもと幼稚園～桜ヶ丘小学校～長野中学校～羽生第一高校
- 小中と野球少年だったが、高校から空手道に励む
- 趣味:自転車、野球、ソフト、カラオケ
- 平成23年 行田市議に初当選(1759票)
- 平成27年 県議選に初挑戦(12,752票 次点)
- 平成31年 県議選に於いて15,253票の信託を頂き初当選
無所属県民会議(14名第二会派)にて活動中!
- 朝の清掃&挨拶活動は11年目に突入、1,000回を超え継続中!
- 県民の声を県政に届ける為各地でミニ集会を実施中!

希望の芽を出せ柿の種

発行・連絡先

埼玉県議会議員 柿沼貴志 事務所
〒361-0077 行田市忍 2-17-12

TEL 048-554-1377 FAX 048-577-3154
e-mail : takashi-kakinuma@mbr.nifty.com

柿沼貴志

検索

令和3年12月補正予算 **36億1,663万円** 令和3年12月追加補正予算 **383億1,641万84円**

補正後累計 2兆6,375億5,877万64円

主な内容

ポストコロナの新しい生活様式を見据えた社会経済活動の活性化に向けた支援

- ◆ 経営環境の変化に対応した事業再構築等に取り組む中小企業等への支援
- ◆ DX推進に向けたキャッシュレス決済の導入に取り組む商店街への支援
- ◆ 原油・原材料価格の高騰に対応した緊急融資枠(100億円)の創設による中小企業等への利子補給
- ◆ 商工団体と連携した中小企業のニーズを踏まえたデジタル人材の育成
- ◆ 県外からの旅行者も対象とした観光応援キャンペーンによる観光関連事業者への支援

介護施設・障害者施設における新型コロナウイルス感染症対策の継続

- ◆ 感染発生時の人員確保など福祉サービス提供継続等に向けた支援
- ◆ 埼玉県地域医療介護総合確保基金への積み立て
- ◆ クラスタ発生時の看護師派遣による療養体制の確保

県税務システムの改修

- ◆ 軽自動車税に係る国との連携方法の変更に伴うシステム改修費の増額

柿沼貴志の活動風景



委員会で積極的に県政を話す。



拉致被害者救出の署名活動で街頭に立ち訴える。



県内視察
埼玉パナソニックワイルドナイツ



継続して駅や街頭に立ち郷土の声を県政に!

埼玉県の観光振興施策の推進を！(知事) 埼玉県の豊富な観光資源を活かす取組を

Q 埼玉県には全国に発信できる観光資源が豊富にある。例えば行田市には埼玉県名発祥の地ともいわれている「さきたま古墳群」があり、県内初の特別史跡にも指定されている。さらに本年造幣局では、特別史跡「埼玉古墳群」を構成する荷荷山古墳の記念メダルを販売開始した。また近代産業を支えた足袋蔵のストーリーが日本遺産に認定され、こちらも県内唯一の世界に誇れる文化遺産だと確信している。ただ残念ながら県の観光施策には日本遺産は全くといって良い程考慮されていない。日本遺産は更新制度に代わり、このままでは認定取り消しもあり得る。折角の観光資源が有効に生かされない。様々な注目を集めるコンテンツがある今こそストーリー性のあるPRを含めた観光行政に力を入れるべき。コロナ禍もあって観光ツアーは皆無、せっかく開発された古墳グッズも商品化が進んでいない。部局の連携が、観光振興、ひいては地域振興に繋がると思われる。市町村との連携も含め、埼玉県として部局を超えた観光行政を進めるべき。

指揃している観光行政の取組拡大には予算措置が必要だと考える。埼玉県の令和3年度の観光当初予算は3.4億円、秋田県に次いで少ない予算額である。埼玉県は県内各地に歴史遺産や自然遺産があり、アニメの聖地などもある。観光資源は豊富であり、首都圏から手軽に訪れられる位置にあることも強みの一つだ。人口減少が続く県北地域では、観光振興が地域活性化の有効な手段になると考える。費用対効果も十分期待できる観光予算を増額して取組むべきである。



埼玉新聞 令和3年12月11日付

A 行田市には日本遺産に認定された足袋蔵や埼玉古墳群などのほかにも、古代蓮、忍城、田んぼアート、花手水、陸王、のぼうの城などストーリーに富んだ魅力的な観光資源が豊富にある。県は観光情報誌やSNSのほか、民間事業者と連携して作成した周遊マップ、インバウンド向けの埼玉PR動画など様々なツールを使い埼玉古墳群や足袋など 行田市の観光資源を国内外に紹介してきた。

観光予算額は令和3年度においては、観光振興の観点から補正予算として4.5億円を計上し、観光キャンペーンなどに力を入れた。観光振興における本県の強みは、首都圏の4千万人を超える人口と交通アクセスに恵まれていることである。こうした首都圏の方をメインターゲットとして、年間を通じて何度も訪れたい埼玉県を目指し、鉄道事業者などと共に取り組んでいる。また、株式会社KADOKAWAなどと連携してアニメ関連の観光スポットへの誘客を展開している。若者に人気のV Tuber やeスポーツなどのデジタル技術を活用した情報発信を行うとともに、一層連携して埼玉県の魅力を高め、観光振興に取り組むたい。

Q 補正で増額するのではなく当初予算を増額することが重要と考えるが見解を伺う。

A 議員指摘のとおり、連携や市町村における取組なども踏まえ、令和4年度の予算については、担当部局ともども、検討をしっかりと進める。

学校教育問題について

①学校と外部関係機関の連携やプラットフォームの形成について(教育長)

Q 今年度開催された、パラリンピックでは、障害のあるアスリート達が高いパフォーマンスと私たちに共生社会の実現に向けての大きな感動を与えてくれた。国や県は、高等学校に対して、生活困窮者への自立支援、ひきこもり支援における関係機関の連携の促進、医療的ケア児およびその家族支援、ヤングケアラー支援、その他にも中途退学、不登校、自殺、虐待、緊急事態宣言での心のケアなど多くの問題が深刻な状況であり、適切な支援と連携がなされるよう「文書通達」がなされていると聞いている。高まる学校と外部関係機関の重要性、学校のプラットフォーム形成についてその重要性と今後の取組について教育長に見解を伺う。

A 学校が、生徒一人一人に適切な支援を行うためには、様々な課題を早期に把握し、その状況に応じて医療や福祉など外部の専門機関などと連携して対応していくことが大切である。こうした外部の関係機関と適切に連携するためには、学校は生徒を支えるプラットフォームであるという位置付けのもと、関係機関と連携したネットワークを構築することが重要であると認識している。現在、学校には、心理の専門家であるスクールカウンセラー(SC)や福祉の専門家であるスクールソーシャルワーカー(SSW)など様々な外部人材を配置し、課題を抱える生徒を組織的に支援する体制を構築し、一人一人の生徒をしっかりと支援していく。

Q 現在、関係機関との連携について、具体的にどのように取り組んでいるのか。

A 家庭環境に課題のある生徒の支援には、SSWを活用して、児童相談所、あるいは市町村の福祉部局等の関係機関と学校とのネットワークを構築する役割を果たしている。また、就労に悩む生徒には、就職支援アドバイザーを活用することにより、ハローワークやヤングキャリアセンターなどの関係機関と学校の連携を円滑にする役割を果たしている。様々な外部機関と連携をすることにより、学校が中心にならなければいけないという思いは持っている。様々な専門的知見を活用して、チーム学校として生徒を支えていく。

②支援を必要とする生徒の問題解決の為に欠かせない、専門職の常勤化への予算措置について(知事)

Q 週2日勤務のSSWが会議日程の調整、情報の共有、緊急対応など職務として対応出来ると考えているのか？また、「文書通達」のように福祉、医療、保健などとの連携が求められていても「地域の支援体制を知る」ことは、充分な見識と経験がなければ到達できるものではない。勤務日では無い日の交通費も自腹で通っている。なぜそこまでするのかといえば現状困窮している生徒を目の前にした当事者だからである。指摘した「生徒の困窮した状態への支援」を次から次へとSSW等活用する通達文を出しておきながら年間の勤務日数を基本90日と変えることはない。また、SSWは、生活保護担当とも連携し生活困窮の生徒支援をしている。しかし、支援している側のSSWの年間の給与は109万円であり、支援している側も実は生活困窮者レベルといえる。そのうえ、生徒のため市・町へ出かける交通費でさえ、自分で支払っている現状がある。法的にも学校職員であり、学校ではその職責が益々大きくなっているにもかかわらず、職業として自立した生活を保証していない現状は問題である。以上を踏まえ、より高い専門性の待たれるパレット校にSSWの常勤化に向けての予算化を強くお願いする。



A 本年4月にパレット校である吹上秋桜高校を訪問した。生徒の中には、家庭や生活環境に困難を抱えていたり、特別な支援を必要としたりと様々な背景を抱えながら、懸命に学ぶ姿を間近に見て、こうした学校の重要性について再認識した。子供たちの未来が家庭の状況など置かれた環境によって左右することがないよう、学校は生徒の自立をしっかりと支援することが何より大切である。そして、指摘の通り、困難を抱える生徒の自立を支援する上で、SSWの役割は大変重要である。その一方で、指摘のような課題があることも認識している。SSWの常勤化については、現在、国において、常勤の職として求められる職責や担うべき職務など配置の在り方について調査研究が行われている。持続的な体制としていくためにも、国の調査研究結果を踏まえ、教育委員会には支援を必要とする生徒の支援体制についてしっかりと検討をして適切に判断していく。

Q 支援を必要とする生徒は「今」が大切である。国の調査研究の結果を待つのではなく、少なくともパレット校については、県として予算措置をして常勤化を進めるべきである。

A SSW、特にパレット校における重要性については、認識している。常勤化については、指摘もあつたとおり、SSWとしての働き方の問題もあり、常勤をする場合の認められるべき職責、あるいは配置の在り方等について議論をする必要がある。この調査研究が進められているが、これを踏まえて、教育委員会にはしっかりと検討をさせたい。その結果、モデル校で効果を検証したい等の具体的な意見がありましたら、その意見を聞きながら、適切に判断をし、一歩進めたい。

ギャンブル等依存症対策の強化を

ギャンブル等依存症は、適切な治療と支援により回復が十分に可能です。しかし、本人自身が「自分は病気ではない」などとして現状を正しく認知できない場合もあり、放置しておくことで症状が悪化するばかりか、借金の問題なども深刻になっていくことが懸念される。解決に向けた取組の強化をしていかねばならない。埼玉県ではギャンブル依存症の自助グループは残念ながら首都圏では最も少ない状況である。県内には全国的にも珍しくすべての公営競技が存在しています。このように多くの施設を抱えた埼玉県だからこそ、ギャンブルが抱える問題に真摯に向き合って範を示す必要がある。県としても埼玉県依存症対策推進計画(案)として重点課題と目標を設定しているが、実現するためには具体的な取組が必要である。

①高校生に対するギャンブル等依存症に関する教育について(教育長)

Q 高等学校学習指導要領の解説では、保健体育の授業で、ギャンブル等への過剰な参加は習慣化すると嗜癖行動になる危険性があり、日常生活にも悪影響を及ぼすことに触れるようにすると記載されている。ギャンブル等の嗜癖行動は開始年齢が早いほど依存症に陥りやすいことから、学校において行動嗜癖に関する指導を行うことが大切と考えるが教育長の見解を伺う。

A 将来、子供たちが、ギャンブル等に依存しないようにするためには、行動嗜癖について早い段階から正しく理解することが、重要であると認識している。高等学校の学習指導要領では、保健の指導内容に新たに「精神疾患」が位置付けられ、その中でギャンブル等の行動に依存する、行動嗜癖の危険性について取り上げることになった。そこで、県として保健体育科の教員を対象とした保健体育研究協議会等において、来年度から始まる新たな指導内容について、周知を図っていく。今後、子供たちが生涯にわたり健康を保持増進し、明るく豊かな生活を送っていくためにも、ギャンブル等依存症を含めた行動嗜癖の予防に向けた教育の推進に取り組んでいく。

②支援のための民間団体との連携強化について(保健医療部長)

Q 自傷他害の恐れがあるリスクの高い案件は、家族会や考える会といった当事者や家族で構成された民間団体頼みになっている。県は当事者や家族の声を本当に受け止めているのか?切れ目のない支援に民間団体との連携強化の必要性があると考えますが、保健医療部長の見解を伺う。

A 指摘のとおり、ギャンブル等依存症について、相談から治療、回復に至るまで切れ目のない支援体制を整備していくためには、民間団体を含む関係機関との連携が必要不可欠と考えている。県では、ギャンブル依存症問題を考える会埼玉支部が実施する家族会ミーティングや基礎講座に対し補助を行っている。また、「依存症対策連携会議」に委員として参加し、意見を踏まえて、考える会の活動を埼玉県依存症対策推進計画に位置付けることとした。こうした会議を通じて、民間団体の活動と連携を強め、当事者や家族の方からの意見を伺いながら、今後の対策に生かしていく。

③三店方式による営業形態について(警察本部長)

Q 県政サポーターのアンケートで、どんなギャンブルをやったことがあるかを聞いたところ、ギャンブル依存症に大きく関連するギャンブルでは圧倒的に「パチンコ、パチスロ」となっている。パチンコは、出玉をそこでは現金に替えず、一度「特殊景品」に交換し、外に出てから違うところで現金に換えていくという三店方式が行われている。法の抜け道を利用した国も警察も見て見ぬふりをしているこの三店方式だが、やはり外に出てからでもすぐに現金に換えられるから沢山の人がやっていると聞いている。ギャンブル等依存症から県民を本気で救うのであれば、この三店方式を事実上規制する必要があると考えますが、警察本部長の見解を伺う。

A 客がパチンコ営業から賞品の提供を受けた後、第三者に当該賞品を売却することはあるものと承知している。風営適正化法では、パチンコ営業者が現金又は有価証券を賞品として提供することや、客に提供した賞品を買取ることを禁止している。当該第三者がパチンコ営業者と実質的に同一であると認められるような場合には、同法違反となる可能性がある。県警察としては、こうした違法行為については、厳正な取締りを行っている。本年6月には、県内のパチンコ店経営者を遊客から賞品を直接買い取った同法違反容疑で検挙しており、埼玉県公安委員会から同店に対して営業停止の行政処分がなされている。

Q 本気でギャンブル依存症から県民を救うのであれば埼玉県独自でパチンコ店の全店舗抜き打ち調査等取締りを強化することはできるか?

A パチンコ営業については、その態様によっては客の射幸心を著しくそそぐこととなるなど、善良な風俗と清浄な風俗環境を害し、又は少年の健全な育成に障害を及ぼすおそれがあることから、業界に対して違法行為については厳正な取締りを行っている。今後とも適正に業務を推進していく。

④パチンコ依存症を救うための対策について(保健医療部長)

Q 新型コロナウイルス感染症の影響で、不要不急の外出を控えていた緊急事態宣言下でも、朝からパチンコ店の前には行列が出来ていた。パチンコが原因でギャンブル依存症になり生活保護に陥ってしまっている人や重度のパチンコ依存症を救う為の県の考え方と対策について、保健医療部長の見解を伺う。

A 多重債務等の経済問題が深刻な事例について県では、精神保健福祉センターや保健所においてギャンブル等依存症を始めとした依存症の相談を受け付け、必要に応じて「暮らしとこころの総合相談会」などを案内し、法律の専門相談に繋げている。パチンコへの依存を含むギャンブル等依存症対策を効果的に推進していくためには、関係事業者との連携が不可欠であると考えている。こうした取組により、埼玉県遊技業協同組合と連携を図りながらパチンコへの依存症対策を進めていく。



その他にも下記について 質問をしました。

児童相談所の負担軽減や
一時保護所の子ども
の権利擁護について(福祉部長)

新型コロナウイルス
ワクチンの接種
リスクについて(知事)

新型コロナウイルス
ワクチン未接種による
差別的防止対策を(知事)

行田市停車場酒巻線の
早期完成について
(県土整備部長)

埼玉県議会 議会中継

会議名一覧

議員名一覧

会派名一覧



埼玉県議会HP
から動画視聴できます。

QRコードよりアクセス



現場の生の声を県政に届ける!



スクールソーシャルワーカーとして働く、堀口先生にお話を伺うことができました。

スクールソーシャルワーカーとは

児童・生徒が生活の中で抱えているいろいろな問題の解決を図る専門職です。日常生活の悩み、いじめ、暴力行為、虐待などの問題に対し、児童・生徒が、自らの力で問題の解決を図るように関係機関との連携調整が主な役割です。

柿：本日はよろしくお願ひします。まずはスクールソーシャルワーカーとして先生がお感じになっていることをお聞かせください。

堀：わたくしが勤務している高校は普通高校ですが、支援を必要としている生徒が多いことに驚いています。まずひとり親家庭が3人に1人、小中学校時代からの不登校の生徒も4割から5割、クラスの約半分を占めています。一般の高校のイメージとはだいぶ異なりますね。

柿：具体的な人数をお聞かせください。

堀：1学年160人でおおよそ110人、約7割が支援を必要としています。今年はずっと多くなるかもしれません。

柿：本来であれば支援を必要とする生徒が、一般高校で生活するのは負担があるのではないですか？

堀：進学就職の願ひが強い保護者の意向で我が校に通学している生徒が多いこともあり、保護者の願ひと現実の生徒の実態にギャップがあるのが現状です。

柿：そのような現状ですと保護者の中には現実を受け入れることが出来ず、障がい者手帳の取得も難しいですよね。

堀：保護者が子どもの障害を認めない、受け入れないケースが多いので確かに難しいです。実状と理想の擦り合わせを3年間でどこまでできるのが課題です。

柿：この3年間で社会につながる準備が出来ない限り、その後引きこもりとなるなど、公の支援を受け入れるしかなくなりますよね。そうなる前に支援をして行く必要があり、最終的にはスクールソーシャルワーカー、スクールカウンセラー、学校の先生、自治体、ハローワーク、企業が協力し合う社会連携のしくみ、プラットフォームを構築する必要がありますね。最初の窓口としてのスクールソーシャルワーカーの役割がより重要になるかと思ひます。

堀：その通りです。しかし、私自身の勤務は1日6時間、週2回、年間で90日程度です。この時間でこれだけの生徒をケアしていくのは困難です。

柿：その通りですよ。時間が足りないですよ。

堀：スクールソーシャルワーカーの仕事は話を聞いて終わりというわけではありません。むしろそのあとが重要で、学校の先生との情報共有、どんな支援機関によるサポートが必要か、保護者にどのように説明するかなど、そういったことに多くの時間を割くこととなります。

柿：ヤングケアラーが問題視されていますよね。

堀：県では1年半前にヤングケアラーに関する条例が出来、ようやく認知が広まってきました。

柿：市町村によって窓口が異なりますよね。

堀：はい、そうですね。行政も家庭からの訴えがないと動けないのが実態です。保護者も実状を隠したがる傾向が強く、ヤングケアラーの子どもたちも幼少期から恒常的になっているので認知していないことがほとんどです。



柿：そういった状況から想像すると、現状の勤務時間で解決を図るには圧倒的に時間が足りないですよね？

堀：本来は毎日勤務してこそ解決に向かうことが可能になると思ひます。

柿：国ではスクールソーシャルワーカーを活用していくと言ひていますが、週2日の雇用状態は変わっていません。ヤングケアラーを問題視している埼玉県でも同様です。勤務日以外の活動経費は自己負担と聞ひています。そうなってくると先生の後継者はなかなか増えませんか。

堀：実際、私の身近には若手のスクールソーシャルワーカーはいません。社会福祉士、精神保健福祉士の資格が必要なのですが、大学を出てこれらの資格を取得して就職となっても、週2日年間100万少しの収入では生活できませんよね。

柿：障害がある子どもたちにとって、高校は社会へ繋がる為の貴重な場所であり、スクールソーシャルワーカーは重要な役割を担っています。やりがいがある仕事、選ばれる職業になるために待遇面を大幅に改善する必要があります。

堀：高校在学中に子どもたちが自立に向けて一歩踏み出すための支援をすることが私どもの使命です。

柿：今回の県議会で大野知事に対し、予算の確保を依頼し、力強い答弁を頂ひています。これからは期待したいですね。

堀：スクールソーシャルワーカーひとりの力には限界があります。学校においても教育の相談体制として教師を含めた包括的な連携体制が必要で。

柿：最後に県に求めることをお聞かせください。

堀：普通高校にも支援を必要としている子どもがいることを知って欲しい、実態を把握して欲しい、現場の声を聞いて欲しいと思ひます。

柿：スクールソーシャルワーカーが活躍できる環境について県が認識し、目に見える形のシステムを構築するよう引き続き働きかけてまいります。本日はありがとうございました。



渋沢栄一翁

予算のテーマ

埼玉県出身で日本近代資本主義の父と称される渋沢栄一翁。NHK大河ドラマの主題にもなった、栄一翁が詠んだ漢詩の一節にちなみ銘打ちました。

新たな社会へ 青天を衝け

埼玉県議会議員
無所属県民会議

ももこ こんの桃子

こんの桃子
プロフィール



【経歴】昭和58年3月2日生、新曾小学校・頌栄女子学院中学校・高校・慶應義塾大学・慶應義塾大学大学院法務研究科(法務博士(専門職))、内閣府非常勤職員、国会議員公設秘書、戸田市議会議員(2期)、埼玉県議会議員(戸田市初の女性県議として当選)、1児の母
【資格等】政党無所属、手話検定1級、書道師範、防災士



県議会議員として2年目を終え、いよいよ折り返し地点に入りました。新型コロナウイルス感染症という世界で誰も経験したことのない脅威に対し、社会は大きな変革を求められています。今こそ、政治が主導力を持ち、地域の皆さんと心をつなげてこの苦難を乗り越えていかなければなりません。引き続き全力で取り組んでまいります。

予算特別委員会で 鋭く指摘!



新型コロナウイルス感染症対策 特別委員会で集中審議!



令和3年度 埼玉県予算

一般会計

2兆1,198億
4,300万円
(前年度比8.1%増)

全会計合計

3兆5,026億
9,833万9千円
(前年度比1.5%増)

持続可能な
発展・成長を!

県民の生命を
脅威から守る!

新型コロナウイルス感染症による危機を乗り越え、人口減少社会においても本県が持続可能な発展・成長を続けるためには、感染症対策など喫緊の課題に的確に対応していく必要があります。加えて、デジタル化への対応や、激甚化・頻発化する自然災害への備えを進めるとともに、子どもからシニアまで生涯を通じていきいきと活躍できる社会をつくり、誰一人、どの地域も取り残すことのない「日本一暮らしやすい埼玉県」を実現してまいります。

戸田市内のワクチン接種について

戸田市では国の示す接種順位等に従い、準備を進めています。
●方法:インターネットまたは電話予約による ※郵送で対象者に順次届く接種券が必要 ●費用:無料 ●場所:医療機関、集団接種会場 ●接種券送付予定:高齢者(4月より開始)、その他(順次)

ワクチン接種の
予約・手続きの
お問い合わせ

電話番号 048-229-0577
受付時間:8時30分~17時(土日・祝日含む)
FAX 048-229-0769



令和3年度 県コロナ対策予算

1,001億1,700万円



新型コロナウイルス感染症対策
997億8,200万円

- 新型コロナウイルス感染症に関する医療提供体制の強化
- 検査体制・軽症者等療養体制の確保
- クラスター対策の推進
- 感染者のフォローアップ ●県民相談の実施

ワクチン接種体制の整備
3億3,500万円

- ワクチン予防接種の専門相談
- 医療従事者等のワクチン接種に係る予約サイトの構築
- 妊婦を対象としたウイルス検査の実施

ワクチン全般の
お問い合わせ

埼玉県
電話番号 0570-033-226
受付時間:24時間対応(土日・祝日含む)

接種後の副反応や
医学的な知見を
要するご相談

厚生労働省

電話番号 0120-761-770
受付時間:9時~21時(土日・祝日含む)

※本紙の各予算額は端数処理等を行った概算金額です

日本一暮らしやすい埼玉県に! 新たな社会へ青天を衝け

令和3年度 埼玉県 一般会計予算 2兆1,198億4,300万円

安心・安全の強化



感染拡大防止と医療提供体制の強化

新型コロナウイルス感染症対策	1,001億1,700万円
サステナブルな病院等の経営支援	7,000万円
感染拡大防止対策	29億4,000万円 他



こんのの取り組み

埼玉県、戸田市、埼玉県医師会、蕨戸田医師会など関係者の皆さんと共に新型コロナウイルスワクチン集団接種訓練に参加。この取り組みをモデルケースに県域に広げていきます。

DX*の推進と県経済の回復・成長

*DX…ITを活用して生活をより良いものへ変革すること



デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進

行政のデジタルトランスフォーメーションの推進	21億8,000万円
スマート税務行政の実現	700万円
デジタル化によるビジネスモデルの転換支援	2億8,800万円 他



こんのの取り組み

地方創生・行財政改革特別委員として①市町村格差が生じない配慮②可能な限り効果測定を行い見える化するなど、DX推進について積極的に提言しています。

危機や災害に強い埼玉の構築

激甚化する降雨への対応	120億4,700万円
都市インフラの強靱化	205億3,200万円
農林業に関する危機対応の準備、災害の予防	29億1,500万円 他



こんのの取り組み

九都県市合同防災訓練に参加。首都直下地震等の被害を最小限に食い止めるために、相互の連携強化や住民の防災力の向上を目指し、防災訓練を実施しています。

埼玉の稼げる力の向上

「渋沢栄一創業プロジェクト」の推進	2,300万円
幅広い世代の就業支援と中小企業の人材確保	2億1,700万円
農林業の生産基盤・販売力の強化	1億100万円 他



こんのの取り組み

新一万円札の顔に決まり、また大河ドラマ「青天を衝け」の主人公渋沢栄一翁が議会でも盛り上がっています。これを好機に埼玉県内のビジネスを強力にバックアップしてまいります。

県民の暮らしを守る

犯罪や事故による被害の防止	7億5,400万円
児童虐待防止対策の強化	9億900万円
DV被害者等への支援	2,400万円 他



こんのの取り組み

「通学路でもある美女木6丁目(北)交差点に歩行者用信号機を設置して欲しい」という地元の要望を県議会の管轄である県警に伝え、令和3年2月に歩行者用信号機を新設しました。

魅力ある埼玉の発信

埼玉150周年記念事業の実施	3,900万円
新たな働き方・暮らし方の定着を踏まえた地方創生の推進	4,500万円
東京2020オリンピック・パラリンピックの開催	23億5,600万円 他



こんのの取り組み

県立熊谷点字図書館を視察し、点字作成の現場を見学させていただきました。子ども向けの絵本は、絵の部分にも点字が施されて楽しめるようになっていました。





5カ年計画における主な施策

持続可能で豊かな未来への投資

埼玉版SDGs※の推進 ※国連で採択された「持続可能な開発目標」

- 「ワンチーム埼玉」による推進体制の強化 **4,700万円**
- 埼玉の豊かな水とみどりを守り育む **30億1,400万円**
- 未来を創る人材への投資 **13億5,700万円** 他



こんのの取り組み
産業廃棄物中間処理・リサイクル業を運営しながら、地域活動や環境問題等様々な活動に取り組む石坂産業株式会社を視察。エコ、リサイクルなどについて多くのことを学びました。

誰もが活躍できる社会の実現

- 働き方改革の推進 **3,300万円**
- 女性のキャリアアップへの支援 **2億6,600万円**
- 「世界のSAITAMAプロジェクト」の推進 **1億500万円** 他



こんのの取り組み
これまで延べ600万人の方に利用されてきた、さいたま市にある埼玉県障害者交流センターを視察。障がいのある人もない人も活躍できる社会を実現してまいります。

未来を見据えた基盤づくり

- 「埼玉版スーパー・シティプロジェクト」の推進 **1,200万円**
- 「あと数マイルプロジェクト※」の推進 **196億7,100万円**
※埼玉県における鉄道を中心とした交通ネットワークの整備プロジェクト
- 特別支援学校の整備 **29億5,800万円** 他



こんのの取り組み
予算特別委員会で、長期入院を要する高校生への学習環境整備事業費や、病気療養中の生徒を対象としたICTを活用した遠隔授業の推進について質疑しました。

未来への希望を実現する

- 子供を安心して生み育てる希望をかなえる **379億2,700万円**
- 誰もが健康で安心して暮らせる社会をつくる **52億5,000万円**



具内最大規模の児童擁護施設
上里学園を視察



予算特別委員会にて
詐欺対策について質疑

生活の安心を高める

- 医療の安心を提供する **1,065億6,500万円**
- 暮らしの安心・安全を確保する **117億700万円**
- 危機や災害に備える **743億9,500万円**

人財の活躍を支える

- 一人一人が人財として輝ける子供を育てる **701億6,300万円**
- 多彩な人財が活躍できる社会をつくる **107億3,900万円**



環境問題に取り組む学生と
オンライン意見交換会



環境農林委員会にて
施設管理などについて審議

成長の活力をつくる

- 埼玉の成長を生み出す産業を振興する **75億300万円**※
- 埼玉の農林業の成長産業化を支援する **1億7,000万円**
- 埼玉の活力を高める社会基盤をつくる **225億9,100万円**
※中小企業セーフティネット系融資枠6,500億円を除く

豊かな環境をつくる

- 持続的発展が可能な社会をつくる **51億9,700万円**
- 豊かな自然と共生する社会をつくる **56億1,900万円**



環境科学国際センターで
地球環境について学ぶ



実現!
自転車後部座席
小学校入学時まで可能に!

魅力と誇りを高める

- 県民が誇れる埼玉の魅力を高める **67億400万円**
- 支え合いで魅力ある地域社会をつくる **4億600万円**



予算特別委員会質疑

予算特別委員に就任！総額3兆5,000億円を超える県予算をしっかり審議しました！



歩行者用灯器・横断歩道の設置



過去3年間の歩行者用灯器・横断歩道の設置状況や設置要件、設置要件のホームページでの公開を！

交通部長 設置要件の公表を検討する

警察本部への申請は111件で歩行者用灯器は226灯、横断歩道は1,273件の申請で、1,146本整備した。設置要件は調査結果を基に総合的に判断している。県警ホームページでの設置要件の公表を検討する。

SNSによる子供の犯罪被害



SNSを通じて犯罪に遭った子供の状況について、埼玉県の最新の被害状況及び対策を！

生活安全部長 犯罪被害防止に努めていく

増加傾向にあり、青少年保護育成条例違反のみだらな性行為等や児童ポルノの被害が多い。県警では学校に職員を派遣した教室の開催、啓発動画の配信など、学校等教育機関と連携した取組の他、ツイッター上の不適切な書き込みに対する警告、注意喚起のリツイート等を実施している。引き続き犯罪被害防止に努めていく。

男性職員育休・時短勤務



県の知事部局の男性職員の育休取得率は、国が示す目標値はクリアしているが、母親たちが時短勤務で早く帰ってきた方が助かるという声も多くある。部分休業の時短勤務など推進を！

総務部長 活用について丁寧に説明していきたい

育児休業のほかに勤務時間を短縮する育児休暇や部分休業などの制度があるが、この制度を利用した男性職員は少ない。職員に対して丁寧に説明していきたい。

教育現場の女性管理職登用



小中高校などの管理職に占める女性の割合について、政府は2020年の女性管理職の割合を20%以上とする目標であったが、埼玉県は未達成だ。取り組み強化を！

教育長 女性管理職登用に努めていく

令和3年度当初は18.8%になる見込みである。リーフレットの配布や各学校への働きかけにより意識啓発を図っている。また、管理職選考において出産や子育て、介護などの時期と重なる場合は受験を最長5年間猶予する制度も設けている。今後も働き方改革を推進し、女性管理職登用につなげるよう努めていく。

産後うつケアの推進



コロナ禍で妊産婦が孤立、また女性の自殺も急増しているなかで、年々予算額が減少傾向にあり残念に思う。今後の対策、制度の抜本的な見直しを！

保健医療部長 産後うつの支援に取り組んでいく

うつ病の早期発見、支援につなげることを目的にした「EPDS※に対する補助制度」を県独自に実施しており、令和2年度の実施市町村数は14市町である。保健師の負担軽減等も必要だが、今後とも全産婦に実施できるよう取り組んでいく。※産後うつ病スクリーニング検査

不妊治療助成事業



- ①男性への助成件数が少ないが要因と対策を！
- ②35歳未満の女性への情報提供・普及啓発を！
- ③過去3年間の助成件数の大きな減少の理由は？
- ④将来結婚を希望する未婚女性が卵子を保存する際の補助・助成の検討は？

保健医療部長 正しい知識の普及啓発に取り組んでいく

- ①不妊は男性にも原因があることが十分理解されていないことや、治療機関や助成対象の治療が限定されていることが原因であるが、令和3年から男性不妊を扱う泌尿器科医療機関での治療も助成対象となった。こうした助成制度の改正の周知や、不妊に関する正しい知識の普及啓発に取り組んでいく。
- ②県では不妊に関する知識をまとめた冊子を配布し、ホームページにも掲載している。中高大学生を対象に、助産師による出前講座を令和元年度は21回実施した。今後も工夫して普及啓発に取り組んでまいりたい。
- ③助成件数の減少は、所得制限や年齢制限が要因の一つ。また、35歳未満で治療を行う方が増え、少ない治療回数で妊娠に至っていることも理由と考えられる。対象年齢層の人口も年々減少傾向にある。
- ④疾病のない健康な女性が卵子を保存する際の補助、助成については、現時点では検討していない。

殺処分ゼロに向けた取組



人と動物が共生する社会づくりについて、SNSを活用した飼い主探しや、コロナ禍でのオンライン譲渡会など、動物の飼い主探しの推進を！

保健医療部長 周知するなど協力してまいりたい

県ではSNSを活用した飼い主探しを4月から行う予定。動物愛護団体が行うオンライン譲渡会を県の公式アプリなどを通じて周知するなど協力してまいりたい。

皆様のご意見を募集しています！

皆さんからの声が活動の原動力です。県政に関するご意見・ご要望をお聞かせください。一つひとつの声を大切にフットワーク軽く対応してまいります。



無所属県民会議 戸田支部 このの桃子

〒335-0023 戸田市本町1-21-8-1F
TEL:048-235-5358
ホームページ <https://konnomomoko.com/>
メールアドレス info@konnomomoko.com

このの桃子
ホームページは
こちらから



討議資料

埼玉県議会議員

無所属
県民会議

ももこ

40号

この桃子



facebook

【経歴】昭和58年3月2日生、新曽小学校、頌栄女子学院中学校・高校、慶應義塾大学、慶應義塾大学大学院法務研究科（法務博士（専門職））、内閣府非常勤職員、国会議員公設秘書、戸田市議会議員（1期目3,148票、2期目3,468票、連続第1位で当選）、埼玉県議会議員（13,610票、戸田市初の女性県議として当選）【所属】政党無所属、保育士、防災士、全国手話検定1級、書道（師範）【連絡先】〒335-0023 戸田市本町1-21-8-1F TEL：048(235)5358 ホームページ：http://konnomomoko.com/ メールアドレス：info@konnomomoko.com



県政ニュース 戸田かけはし高等特別支援学校、開校！

戸田かけはし高等特別支援学校は、戸田市・蕨市・川口市に在住の知的障害のある高等部生徒が通学する特別支援学校で、県立戸田翔陽高等学校に隣接しています。

開校式では、在校生の言葉で、「自分のことも、友達のこと、社会のこと、ありのままに受けとめて、その中で成長していきたい」という趣旨の言葉があり、素敵だなと思いました。

学校では様々な社会経験カリキュラムがあり、地域に開かれたカフェもあります。地域に開かれ、愛される学校となることを願っています。



戸田かけはし高等特別支援学校内カフェ

新型コロナウイルス感染症対策 集団接種会場を4会場に拡大！

埼玉県は8月から、新型コロナウイルスワクチンの接種を早めるために、埼玉県浦和合同庁舎（さいたま市浦和区）にある「県高齢者ワクチン接種センター」に加えて、新たに越谷市、越谷市、熊谷市に独自に集団接種会場を開設します。市町村が行う64歳以下のワクチン接種を加速させる考えです。

私自身も県高齢者ワクチン接種センターのリーダーに被接種者（難聴者役）として参加し、耳の不自由な方へのサポートの必要性を指摘し、その旨が翌日新聞に掲載されました。



難聴者役のこのコメントが掲載されました！

開設8/16 予約8/12 13時～

埼玉県浦和合同庁舎

さいたま市浦和区
北浦和5-6-5
武田/モデルナ社製



開設8/2 予約7/29 13時～

県民健康福祉村

埼玉県越谷市北後谷82
ファイザー社製



開設8/16 予約8/12 13時～

川越市南公民館ウエスタ川越

埼玉県川越市新宿町1丁目
17-17
ファイザー社製



開設8/16 予約8/12 13時～

熊谷文化創造館さくらめいと

埼玉県熊谷市拾六間111-1
ファイザー社製



埼玉県が緊急事態措置区域へ

埼玉県が8月2日から8月31日まで緊急事態措置区域に追加されます。

◆対象区域：全域

◆実施期間：8月2日（月）から8月31日（火）

〈まん延防止等重点措置等との主な変更点〉

【県民に対する要請】

- ・ 不要不急の帰省や旅行など県境をまたぐ移動は、極力控えること。
- ・ 日中も含めた不要不急の外出・移動の自粛。特に、午後8時以降の外出を自粛すること。
- ・ 外出する必要がある場合にも、極力家族や普段行動をとっている仲間と少人数で、混雑している場所や時間を避けて行動すること。

【飲食店に対する要請】

- ・ 対象施設にカラオケ店を追加。
- ・ 酒類提供又はカラオケ設備を使用する施設には休業を要請。
- ・ 酒類提供及びカラオケ設備を使用しない施設（飲酒の機会を提供しないこと）には営業時間短縮を要請（午前5時から午後8時まで）。

第6号補正予算 121億498万6千円

○感染拡大の影響を受けている事業者への支援

- ・ 外出自粛等による影響を受けている事業者への支援 52億2,717万6千円
- ・ 酒類の提供自粛等による影響を受けている酒類販売事業者への支援 6億6,459万8千円
- ・ 感染防止対策の強化等に取り組む宿泊事業者への支援 9億997万円
- ・ 感染防止対策に取り組む地域公共交通事業者への支援 1億2,310万円

○感染拡大防止対策の実施

- ・ 高齢者・障害者入所施設及び通所施設の職員に対するPCR検査の実施 45億648万円

無所属県民会議の要望が実現！

無所属県民会議が要望していた「酒類の提供自粛等による影響を受けている酒類販売事業者への支援」が実現しました。



第7号補正予算 488億8,112万1千円

○新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止

- ・ 飲食店等に対する営業時間短縮要請等に伴う感染防止対策協力金の支給 269億3,579万3千円
- ・ 大規模施設等に対する営業時間短縮要請等に伴う感染防止対策協力金の支給 11億7,461万9千円
- ・ 彩の国「新しい生活様式」安心宣言飲食店+（プラス）等に係る現地確認 7,162万2千円

○新型コロナウイルスワクチン接種体制の強化

- ・ 個別接種促進に向けた医療機関への支援 71億7,033万3千円
- ・ 市町村の接種体制を補完する県集団接種会場の追加設置・運営 32億8,388万1千円

○生活に困っている人々への支援

- ・ 生活福祉資金特例貸付の受付期間延長に伴う助成 99億3,148万5千円
- ・ 新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金の支給 3億1,338万8千円

第8号補正予算 683億6,781万5千円

○新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止

- ・ 飲食店等に対する営業時間短縮要請等に伴う感染防止対策協力金の支給 535億9,539万8千円
- ・ 大規模施設等に対する営業時間短縮要請等に伴う感染防止対策協力金の支給 22億1,957万9千円
- ・ 彩の国「新しい生活様式」安心宣言飲食店+（プラス）等に係る現地確認 2億5,376万6千円

○新型コロナウイルスワクチン接種体制の強化

- ・ 個別接種促進に向けた医療機関への支援 118億5,127万3千円
- ・ 中小企業の共同実施や大学等による職域接種への支援 1億5,670万円

○新型コロナウイルス感染症の影響を受けている事業者への支援

- ・ 酒類の提供制限等により特に大きな影響を受けている酒類販売事業者等への支援 2億9,109万9千円

新型コロナウイルス感染症対策特別委員会

昨年度に引き続き、今年度も私は新型コロナウイルス感染症対策特別委員会に所属しています。石川忠義議員（久喜市）、岡村ゆり子議員（川口市）と3人です。

担当課より県の取組みの説明を受けたのち、私は、主に以下の点を質疑しました。

①ワクチン接種の副反応、特にアナフィラキシー反応や死亡事例等の状況とその把握について

②オリンピック・パラリンピック開催にあたっての感染再拡大の見込みとその対応について

③保健所職員等の残業状況と体調不良者について

④新型コロナウイルス感染症の感染を不安に思って登校できていない児童・生徒の状況とその支援について

これに対し、担当課より下記の答弁がありました。

①基本的に法律上、医療機関から直接国に報告することになっており、県への報告義務はないが、今後国に対し情報提供をお願いする。医師会とは意見交換の場で共有したい。

②開催自体で増加はしないと考えるが、人流の増加等で感染拡大の恐れはあると見込む。

③最長は1月熊谷保健所で207時間の職員。体

調不良者はいないが、勤務環境の変化に伴う体調不良は2名。

④昨年9月時点で232人だったが、最新では127人（小40人、中21人、高0人、特支66人）。学習プリントやGIGAスクール構想によるオンライン化を活用し対応している。

この他、他の委員から、まん延防止等重点措置区域の指定のあり方について、県ワクチン集団接種会場について、職員のワークライフバランスについて、埼玉県宿泊・自宅療養者支援センターについて等、非常に活発な議論が行われました。

新型コロナウイルス感染症はいまだ収束が見えませんが、ワクチンの接種拡大も早急に進め、最優先かつ全力で取り組んで参ります。



福祉保健医療委員会



高齢者・障害者施設等職員のPCR検査費を可決

福祉保健医療委員会では、生活困窮者支援強化対策、高齢者・障害者入所施設及び通所施設職員のPCR検査費用等の補正予算を審議し、「嵐山郷」（重度知的障がいや心身障がいのある方が利用する県立福祉施設）や「上里学園」（児童養護施設）の利用状況等の報告を受けました。

補正予算については、上記PCR検査につき自民党より予算の節減を求める趣旨の附帯決議が提案されましたが、無所属県民会議は政府の新型コロナウイルス感染症対策の基本的対処方針に基づき行われるものであり、節減によって生じた財源をほかに振り分けることは困難と解するとし、反対しました。なお、議案についてはすべて可決されました。

また、嵐山郷については利用者の長期化・高齢化を、上里学園については施設小規模化・家庭的養護化の必要性を指摘しました。



公社事業対策特別委員会



下水道公社に「環境を意識した行動を！」

公社事業対策特別委員会では、公社事業の経営・見直しに関する総合的対策が付託され、公社における改革の取組について審査しています。

今回は、「公益社団法人埼玉県農林公社」、「埼玉県土地開発公社」及び「公益財団法人埼玉県下水道公社」の審査を行いました。

特に私は、埼玉県下水道公社について、効果的な普及啓発事業の実施等について質疑し、ホームページ等の閲覧数やイベントの参加者の目標値につき、「すでに昨年目標値を満たしており、今後は閲覧数や参加者数の人数だけでなく、閲覧者や参加者が環境を意識した行動へ促すことを次の目的とするべきではないか」と意見・提言しました。

また、台風19号の際、荒川水循環センターの雨水処理能力を超え逆流した問題につき、改善状況を確認しました。



会派視察 渋沢栄一誕生の地を視察！

深谷市にある渋沢栄一記念館、渋沢栄一誕生の地「中ん家」、深谷レンガを用いた深谷市新庁舎等を訪問させていただきました。

渋沢栄一翁は新一万円札の顔となり、NHK大河ドラマ『晴天を衝け』でも話題の埼玉県が生んだ偉人です。

渋沢栄一翁が生まれ育った風土や渋沢栄一翁の「経済道徳合一説」等を直に学ぶことができ、とても勉強になりました。

また、元埼玉県議会議員・現深谷市長の小島進市長とも深谷レンガを用いたまちづくりや県北地域の観光業等について意見交換させていただきました。



渋沢栄一記念館



深谷市庁舎等訪問1



小島進深谷市長

会派活動 選択的夫婦別姓制度を学ぶ！

選択的夫婦別姓制度の推進を求める意見書をめぐり、推進派の当事者団体の方と慎重派の有識者の方の双方と勉強会・意見交換会をさせていただきました。

推進派の方々からはご自身の旧姓への思いや、子どもを連れて離婚や事実婚を経て苦労されたお話等、切実な思いを伺いました。

他方、慎重派の有識者の方からは「子どもの最善の利益」の大切さや「ファミリーネームの消失」の恐れのご指摘を伺いました。

会派内で議論を深め、会派としては趣旨採択を求めましたが否決となり、「導入」を前提とする原案に対し反対しました。



反対討論(鈴木正人県議)



選択的夫婦別姓制度勉強会①

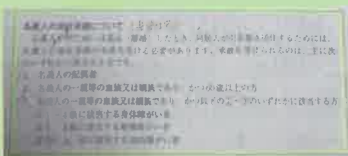


選択的夫婦別姓制度勉強会②

ご意見対応 皆さんからのご意見にひとつひとつ対応しています。

① 県営住宅に名義承継して住み続けたい

市外の方から「県営住宅に住んでいるが、契約者の母が亡くなった。このまま済み続けたい」とメールをいただきました。県に確認したところ、名義承継が認められる条件のいずれにも該当せず、名義承継を行うことはできませんでした。別途生活支援の策がないかお住いの自治体へお繋ぎしました。



② 上戸田T字路で事故があり、危険だ

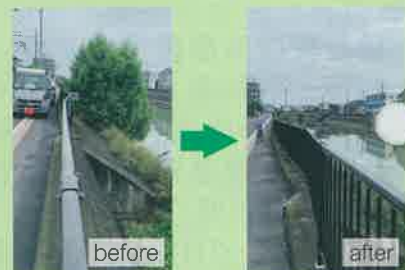
facebook上で、「上戸田T字路で先日交通事故があった。見通しが悪く危険だ」とコメントを頂きました。現場を確認し、警察に連絡し、対策を検討していただくことになりました。



上戸田T字路

③ 笹目川護岸の木を伐採してほしい

地元の方から「笹目川護岸に木が育っていて、流れるおそれがあり危ない」とご連絡がありました。すぐに現地を確認し、県を通じて県土整備事務所に要望し伐採していただきました。



before

after

④ 視覚障がいがあるが、白線が消えて見えにくい

酒井市議から「視覚障がい者の方から、『白線が消えて見えにくい』とご相談があった。改善を」とご相談をいただきました。現場を確認し、県道は県に、市道は市に、横断歩道は警察に、それぞれ修繕をお願いし、塗り直していただきました。



上戸田市道県道

編集後記

保育士不足が叫ばれる中、仕事や自身の子育てに役に立つかと思い、保育士試験を受験しました。試験科目である筆記試験9科目+実技試験2科目を3年間かけて合格を目指していましたが、1回で合格することができました。保育士の理念である「子供の最善の利益」を優先する姿勢を今後の仕事や子育てに活かして参りたいと思います。金野 桃子

皆さんのお声をお聞かせ下さい

皆さんからのお声が活動の源です。県政へのご意見・ご要望、レポートを読んだ感想等をお聞かせください。

〒335-0023 戸田市本町1-21-8-1F

無所属県民会議戸田支部 この桃子 048-235-5358

✉ info@konnomomoko.com

埼玉県議会議員

無所属
県民会議

ももこ

41号

この桃子



facebook

【経歴】昭和58年3月2日生、新曾小学校、頌栄女子学院中学校・高校、慶應義塾大学、慶應義塾大学大学院法務研究科（法務博士（専門職））、内閣府非常勤職員、国会議員公設秘書、戸田市議会議員（1期目3,148票、2期目3,468票、連続第1位で当選）、埼玉県議会議員（13,610票、戸田市の女性県議として当選）【所属】政党無所属、保育士、防災士、全国手話検定1級、書道（師範）【連絡先】〒335-0023 戸田市本町1-21-8-1F TEL/FAX：048(235)5358 ホームページ：http://konnomomoko.com/ メールアドレス：info@konnomomoko.com



令和4年度予算要望 大野知事に県政要望・地元要望を提出！

無所属県民会議として、大野知事に対し「令和4年度予算編成に対する予算要望」を提出しました。

- ①「新型コロナ打撃（ショック）からの回復」
- ②「新しい時代を切り拓く公教育の推進」
- ③「子供の命を守る 施策への重点投資」
- ④「気候危機に打ち勝つ埼玉県政」

を4本柱に、合計600項目を要望しました。



無所属県民会議



大野知事に地元要望を提出

要望提出 治水対策に関する要望を提出！

菅原市長、細田県議とともに、埼玉県に対し「戸田市内の治水対策に関する要望書」を提出しました。

令和元年の台風19号の際には、川からの溢水等、市民生活を脅かす大きな水害が発生しています。

私も昨年9月定例会で、台風19号による水害対策を取り上げ、笹目川からポートコースへの取入水門の整備や事前のポートコースの水位調整等を訴えていましたが、治水対策について国と県と市との連携が必要なことを改めて痛感しました。

引き続き、県と市との橋渡し役として治水対策を進めて参ります。



取入水門



令和2年9月定例会



菅原市長、細田県議、この

意見書 犯罪被害者等の特別休暇制度を提言！

意見書とは、地方公共団体の公益にかかわる事柄に関して、議会の議決に基づき、議会としての意見や希望を内閣総理大臣等に提出するものです（地方自治法第99条）。

私は、会派の政策調査会副会長として、これまで積極的に意見書の原案を提出してきましたが、残念ながらこれまで他会派の同意が得られず採択されたものではありませんでした。

今回は、池袋の乗用車暴走事故の被害者の方が、犯罪被害者等のための特別休暇制度を求めていることを報道で知り、それを後押ししたい思いで、同趣旨の意見書を提案したところ、他会派の文言修正を経て、全会一致で可決されました。おそらく全国初のことです。国が被害者の方の思いを汲み取り、制度化されることを切に願っています。



全会一致で可決

意見書

犯罪被害者等のための特別休暇制度の確立等に関する意見書

平成16年に犯罪被害者基本法が成立し、我が国は、犯罪被害者とその家族（以下「犯罪被害者等」という）の権利利益の保護に関する社会的責務に向け取り組んでいるが、犯罪被害者等への支援は依然として十分な水準に達していない。また、被害者・遺族の特別休暇取得が容易でなくして被害者本人は、本年2月に、国連「障害者権利条約の条（あいりん）」と、犯罪被害者等が「精神的苦痛」を軽減できるよう支援に努めなければならない旨に定める要望書を提出した。また、昨年10月に「子どもの権利条約（児童権利条約）」の趣旨と一致するよう求められている。

犯罪被害者等は、犯罪による身体的公署を受けなければならず、精神的苦痛にさらされ、経済的困難に直面するなどの被害に苦しむ。また、心身の回復に必要とする「精神的苦痛」を軽減するための支援が必要である。また、心身の回復に必要とする「精神的苦痛」を軽減するための支援が必要である。また、心身の回復に必要とする「精神的苦痛」を軽減するための支援が必要である。

この趣旨として、犯罪被害者等が仕事を続けることができるようにするため、議員が提出した意見書に基づき、令和4年度予算編成において「犯罪被害者等のための特別休暇制度」の確立が実現されるよう要望する。議員が提出した意見書に基づき、令和4年度予算編成において「犯罪被害者等のための特別休暇制度」の確立が実現されるよう要望する。議員が提出した意見書に基づき、令和4年度予算編成において「犯罪被害者等のための特別休暇制度」の確立が実現されるよう要望する。

よって、国においては、犯罪被害者等が一日も早く回復を遂げ、社会の中で再び活躍できることを目指すこととする。また、上記の事項を速やかに実施すること強く要望する。

犯罪被害者等のための特別休暇制度の確立等に関する意見書

意見書

補正予算 新型コロナウイルス感染症対策等、総額約1,516億円の補正予算を可決！


第10号補正予算 約1,271億6,885万円

- 今後の感染状況の変化も踏まえた医療提供体制等の確保・強化
 - ・県民相談窓口体制 約6億137万円
 - ・検査・医療提供体制 約1,020億9,853万円
 - ・保健所の感染者フォローアップ体制 約17億8,857万円
 - ・自宅・宿泊療養体制 約172億1,925万円
 - ・ワクチン接種の副反応等の専門相談窓口体制 約2億7,848万円
- 県内経済活動の回復とウィズコロナ・ポストコロナ社会への対応
 - ・事業再構築支援センター（仮称）の設置による中小企業への支援 約3,620万円
 - ・中小企業のオンラインによる販路開拓に向けた支援 約2,499万円
 - ・DX推進支援ネットワークを通じたデジタル導入企業の支援 約971万円
- 公共事業等の追加、適正工期の確保
 - ・道路・街路事業 約48億6,680万円
 - ・河川事業等 約2億4,490万円
 - ・繰越明許費の設定 約61億8,253万円

第11号補正予算 約244億6,608万円


- 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止
 - ・飲食店等に対する営業時間短縮要請等に伴う感染防止対策協力金の支給 約244億5,927万円
- 要請期間：令和3年10月1日から
令和3年10月24日まで（24日間）
- ・飲食店等への営業時間短縮要請等に係る現地調査 約681万円

<彩の国「新しい生活様式」安心宣言飲食店+認証>



電話予約：0570-000-678
受付時間：平日 午前9時～午後9時
土日祝日 午前9時～午後6時

電子申請はこちら！



無所属県民会議 現場の声や当事者の思いを常に聞いて、県政に届けて参ります！

団体要望ヒアリング

例年は県内各団体の方々と直接お目にかかって、意見交換をさせていただいておりましたが、今年は緊急事態宣言下ゆえに書面やオンライン等を活用して行いました。

■レインボーさいたまの会

レインボーさいたまの会は誰もがありのままに暮らせる”彩”の国を目指す団体で、LGBT交流会等を行っています。多様性を受容する地域社会のあり方等について意見交換をしました。



■連合埼玉

連合埼玉は労働者の労働環境の整備や待遇改善を図る団体で、安全・安心な暮らしやすい地域社会づくり等を行っています。地域経済・産業政策等について意見交換をしました。



児童養護施設勉強会

無所属県民会議主催の勉強会「社会的養護を知り、児童虐待を考える」に戸田の会とともに参加しました。

一般社団法人「コンパスナビ」の方々や、児童養護施設で育った方々より、社会的養護についての課題・問題点や、当事者の声をお聞かせいただきました。

令和元年度では、虐待相談対応件数約19万件のうち、一時保護されるケースが約3万件、その後施設入所等の措置につながるケースが約5,000件だそうで、一時保護されても、約8割強の児童は家庭に戻されているということに驚きました。児童虐待を受けた当事者の方々のお話は胸が苦しくなると同時に、親を恨むことなく親の支援の必要性を訴える姿に胸が打たれました。引き続き、児童虐待防止に力を入れて取り組んで参ります。



新型コロナウイルス感染症対策特別委員会

新型コロナウイルス感染症対策特別委員会では、石川忠義議員（久喜市）、岡村ゆり子議員（川口市）とともに、新型コロナウイルス感染症対策の第5波での取組みを振り返り、第6波に向けた対策を審議しました。

私からは、

■自宅療養者の個人情報の提供について

- ①パルスオキシメーターの貸与
 - ②食料品・生活必需品の支給または購入代行
 - ③ゴミ出しの代行
- の3条件を市が行うことを要件としているが、③ゴミ出しの代行は感染のリスク等より負担が大きく、複数の市が難色を示している。任意条件にできないか、と質問しました。

これに対し、当初は県は市にゴミ出しの代行を求めていましたが、その後、任意条件に変更されました。

■「LINEコロナお知らせシステム」について

これまで30万件あまり発行したものの、陽性者と濃厚接触し



た可能性のある利用者への通知は1件のみ。同システムは「彩の国新しい生活様式安心宣言飲食店+（プラス）」の取得条件にもなっているが、早急に現状確認と見直しを、と求めました。

これに対し、正しく運用された結果と考えており、今後も働きかけたいとの答弁がありました。

■今年度、感染不安から1日も出席できていない児童生徒数についてを質問しました。

これに対し、小学校63名、中学校26名、高等学校1名、特別支援学校87名との答弁があり、この問題は翌日のテレビ埼玉にて報道されました。

オンライン学習の充実や心のケア等、引き続き対策を求めて参ります。



福祉保健医療委員会



新型コロナ対策の実態を質疑！

福祉保健医療委員会では、松坂よしひろ議員（東松山市等）とともに、新型コロナウイルス感染症対策に関する補正予算（総額約1,219億円）について審議しました。

私からは、

- 新型コロナウイルス感染症県民サポートセンターの運営（約2億5,608万円）及び受診・相談センターの運営（約3億4,255万円）の運営状況
- 「LINEコロナお知らせシステム」（約273万円）の利用実績と濃厚接触の可能性のある利用者への通知実績
- 民間検査機関等へのPCR検査機器の整備への助成（約26億1,482万円）の実績と実態確認
- 入院医療機関の病床確保等への支援（約899億6,213万円）に際し、いわゆる「幽霊病床」の実態と対策
- 自宅療養者への適切な療養体制の確保（約39億6,492万円）に際し、新規契約先との契約関係（適切に業務委託を行えるか）の確認等を質問しました。



公社事業対策特別委員会



県営戸田公園の水草対策を提言！

公社事業対策特別委員会では、井上わたる議員（和光市）とともに、（株）さいたまアリーナ、（公財）埼玉県公園緑地協会、埼玉県住宅供給公社の3公社における改革の取り組みについて審議しました。

私からは、

- こども動物自然公園に新しく仲間入りした「クオッカ」の経済効果
 - 県営戸田公園の水草対策のこれまでの取り組みと今後の対策
 - 県営住宅の入居者死亡時の取り扱い、特に個人情報の市町村との共有を質問しました。
- 最後に

◆県営戸田公園の水草対策について、適宜現場の状況を確認し、施設利用に支障をきたす場合は地元自治体や関係機関と連携し、迅速かつ適切に対応することを提言しました。



街路樹を考える議員連盟

街路樹を考える議員連盟（会長：石川忠義議員（久喜市））では、「埼玉県街路樹マネジメント方針（令和3年4月作成）」について質疑応答いたしました。

県内には、高木4万7000本等をはじめ多くの街路樹があり、昭和から平成初期に植樹した木が大木化・老朽化しており、選定作業費や労務費等の上昇により計画的な維持管理が困難になっています。

限られた財源のなかで街路樹を適切に管理するために、管理の転換を図り総量を削減することが必要ですが、新たに植樹する際の基準はあるものの、撤去の基準がありません。

今後、撤去や間引きの基準を示す指針が必要として、「街路樹あり方検討会」が開催され、「埼玉県街路樹マネジメント方針」が策定されました。



街路樹を考える議員連盟

スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカー勉強会

無所属県民会議でスクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカーの現状について勉強会を開き、私も昨年9月定例会でコロナ禍における高校中退者へのフォローや就職支援等について訴えました。その中で、小中学校や福祉サービス等の面で市との連携を感じたため、戸田の会の皆さんと改めて勉強会を開きました。

実際の教育現場の方々をお招きし、スクールカウンセラー等の実情、ヤングケアラーの現状、小中高の連携、不登校児童・生徒の支援、学校と行政と地域のプラットフォーム作り等について学び、意見交換をしました。

私は、教育行政は教育委員会からのヒアリングや資料から学ぶだけではなく、現場の声を聞くことを重視しています。

特にスクールカウンセラー等の予算拡充を粘り強く訴えて参ります。



教育行政勉強会－戸田の会

ご意見対応 皆さんからのご意見にひとつひとつ対応しています！

①氷川町交差点のポールが折れている

「氷川町交差点のポールが折れていて危険だ」とご連絡をいただきました。

該当箇所は県道なので、県の担当課に修繕を依頼するとすぐに撤去され、三角コーンを設置後、修繕していただきます。



②上戸田交差点にカーブミラーを設置してほしい

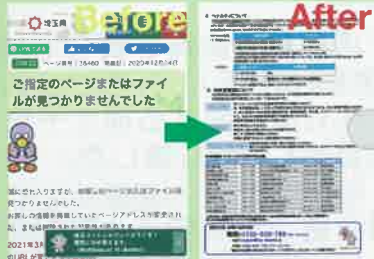
「上戸田交差点の見通しが悪く、カーブミラーを設置してほしい」とご要望をいただきました。

現地を確認し、写真赤丸部分にカーブミラーを設置する等、安全対策を行うことを警察に要望しました。



③県有施設の利用登録メールに不備がある

「県営施設の利用登録の自動返信メールに不備がある」とご連絡をいただきました。確かに添付されているPDFファイルのリンク先が切れていたため、担当課に改善を求め、すぐに改善していただきました。



④子どもの見守りサービスで子どもたちを守りたい

市内事業者の方から「自社の子ども見守りサービスを活用できないか」とお話を伺いました。

様々な子ども見守りサービスが提案・導入されていますが、市ではあまり普及していません。今後行政や関係機関に情報提供していきたいと思えます。



見守りサービス

編集後記

11月に第二子となる男の子を無事出産いたしました。12月議会は産休をいただき、その後は体調を見ながら復帰したいと考えています。議員の任期中の妊娠・出産については様々なご意見があるかと思いますが、私自身が子育てと仕事を両立させることで、若い世代や女性も政治に参画しやすい環境をつくって参りたいと思えます。 **金野 桃子**

皆さんの声をお聞かせ下さい

皆さんからの声活動の源です。県政へのご意見・ご要望、レポートを読んだご感想等をお聞かせください。
〒335-0023 戸田市本町1-21-8-1F
無所属県民会議戸田支部 このの桃子
✉ info@konnonomoko.com TEL/FAX 048-235-5358